

設置の趣旨等を記載した書類

1. 設置の趣旨および必要性

九州女子短期大学の既設 2 学科（養護教育科、初等教育科）を発展的に統合し、平成 23(2011)年度より「子ども健康学科」を開設する（短期大学の学科の設置）。

1.1. 設置の必要性

既設の養護教育科は、昭和 37(1962)年、養護教諭 2 種免許状が取得可能な学科として開設され、養護教諭として小学校、中学校等へ優秀な人材を輩出してきた。平成 15(2003)年からは、専攻科養護教育学専攻を設置し、養護教諭 1 種免許状を取得可能とした。以来、教育現場における健康教育を基盤とした学校保健を中心に、子どもの心身の健全な発達と健康の維持増進を支援するための専門的知識・技能を培い、即戦力となる人材を養成してきた。

また、既設の初等教育科は、昭和 41(1966)年、幼稚園・小学校教諭 2 種免許状が取得可能な学科として設置され、多数の幼稚園教諭、小学校教諭を社会に輩出してきた。平成 15(2003)年からは、初等教育科で積み重ねてきた教育者養成の実績を踏まえつつ、新たに保育士養成課程を加えて、幼稚園教諭、小学校教諭および保育士の 2 免許・1 資格の取得を可能とした。以来、乳幼児期から児童期に至る子どもの養護と教育に関する包括的、横断的な知識・技能を有する保育者・教育者を養成して、地域社会の教育・福祉の発展に貢献してきた。

しかし、近年の子どもを取り巻く環境の変化によって、子どもの発達支援および健康支援に対しての充実が求められるようになった。「子どもを取り巻く環境の変化を踏まえた今後の幼児教育の在り方について」(中央教育審議会答申、平成 17(2005)年)では、近年の子どもの育ちの現状について、「基本的な生活習慣や態度が身に付いていない」「他者とのかわりが苦手である」「自制心や耐性、規範意識が十分に育っていない」「運動能力が低下している」などの課題が指摘され、これらの課題に対応するため、答申においても「幼児の家庭や地域社会における生活の連続性および発達や学びの連続性を保ちつつ教育を展開する力」や「特別な教育的配慮を要する幼児に対応する力」、さらには「子育てに関する保護者の多様で複雑な悩みを受け止め、適切なアドバイスができる力」など、保育者の専門性の拡充が求められている。

また、「問題行動調査」(文部科学省、平成 20(2008)年度)では、小学校や中学校における子どもの暴力等の問題行動が引き続き増加傾向にあることが示され、その背景として、コミュニケーション能力や人間関係能力の弱さなどが指摘されるとともに、子どもの心身の健康を維持増進する責務が保育者・教育者に求められている。

上述の課題に対応するため、九州女子短期大学はこれまでの実績を継承するとともに、学科全体において、的確な子ども理解に基づいた「子どもの発達支援を保证する専門的かつ実践的な知識および技能」と「子どもの心身の健康を維持増進する専門的かつ実践的な知識および技能」を学修する環境を構成し、保育士、幼稚園教諭、養護教諭を主として養成することを目指して、以下のような改組策を講じる。

- (1) 学科全体において、確かな子ども理解に基づいた「発達支援」および「健康支援」に係る学問の学修を保証する教育課程を組織する。
- (2) 専門的知識・技能に基づく実践的力量の修得を保証するため、各実習(「教育実習」「保育実習」)の指導体制を強化するとともに、実習と各教科との関連を明確化する。特に教育実習については、附属幼稚園(2園)を定期的な実習機関として活用し、学生に実習と各教科との関連を理解させつつ実践的力量を培う。
- (3) 学是「自律処行」に示され、かつ今日の保育者・教育者に特に求められる資質である「他者との協調性」「自己理解力」「的確な判断力」を培い、適正な職業観を育成して学生の主体的な職業選択を支援するため、キャリア支援科目(「キャリアデザイン ~」)を開設して全教員が2年間を通じてキャリア教育を実践する。

上記(1)～(3)の改革を実現する教育組織として、既設の養護教育科と初等教育科を発展的に統合し、平成23(2011)年度に子ども健康学科を設置する。既設の養護教育科および初等教育科は、平成23(2011)年度から学生募集を停止し、在学生の卒業を待って廃止する。(九州女子短期大学子ども健康学科の教育理念図を資料1に示す)。

1.2. 教育研究上の目的

本学の教育研究目的および人材育成方針については、九州女子短期大学学則に規定している。第1条では、「本学は、教育基本法に則り学校教育法の定めるところにより広く深い知識と教養を授けると共に、職業教育に重点を置く高等教育を施し、良識と技能をそなえた心身共に健全な女性の育成を目的とする」と本学の目的を規定し、また第3条においては「本学の建学の精神は、自らの良心に従い事に処し善を行うことである。この学是「自律処行」は、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動できる強くてしなやかな女性を育成することを目的とする」と本学の学是を規定し、さらに第3条の2においては「乳幼児期から青年期に至る子どもの成長・発達の科学的理解及びその科学的理解に基づく心身の健やかな成長・発達を支援する専門的知識・技能について学び、確かな子ども理解と健康観に支えられた発達と健康維持・増進を支援する実践的力量を修得させることを目的とする」と教育研究上の目的を定めている。

子ども健康学科が教育研究対象とする中心的な学問分野は、教育学・保育学および保健衛生学の複合領域であり、子ども健康学科の1学科において、教育・研究を行う。

1.3. 人材養成方針、卒業後の具体的進路

(1) 子ども健康学科の人材養成方針

前述のように、既設の養護教育科は、教育現場における健康教育を基盤とした学校保健を中心に、子どもの心身の健全な発達と健康の維持増進を支援するための専門的知識・技能を培い、即戦力となる人材を養成してきた。また、既設の初等教育科は、乳幼児期から児童期に至る子どもの養護と教育に関する包括的、横断的な知識・技能を有する保育者・教育者を養成してきた。

これらの実績を発展的に継承しつつも、子ども健康学科においては、既設の両学科がそれぞれ実践してきた教育学・保育学領域と保健衛生学領域を統合して、心身の健康の維持増進に関わる専門的知識・技能を備えた保育者・教育者の養成を目指す。

子ども健康学科は、他者との協調性、自己理解力、的確な判断力を培い、自主・自立の人材を養成する。また、子どもの心身の健やかな成長・発達について深い知識と高い技能を有し、子どもの成長・発達と健康の維持増進を支援する実践的力量をもった人材を養成する。

(2) 卒業後の具体的進路等

卒業後の進路については、既設の養護教育科および初等教育科は、これまで永年に亘って人材養成方針に基づいた就職先を確保してきた。近年の九州女子短期大学全体の就職率は平成 18(2006)年度 92.5%、平成 19(2007)年度 92.0%、平成 20(2008)年度 95.0%と 90%台を維持している。主な内定先を業種別に見ると、保育園・幼稚園・医療・教育・福祉と両学科の特色を生かした就職先となっている。特に初等教育科は平成 20(2008)年度、平成 21(2009)年度に就職率 100%を達成し、多くの学生を社会に輩出している。(業種別の進路先を資料 2 に示す)。

平成 21(2009)年度に本学に寄せられた求人件数は、短期大学専用求人 674 件(平成 22(2010)年 2 月 5 日現在)であり、その中で、子ども健康学科の学生の就職先と想定される医療系・福祉系・保育園・幼稚園・教育産業については、業種別求人処理状況をみても、平成 20(2008)年度 277 件に対して、平成 21(2009)年度 340 件と景気低迷の社会情勢であるにもかかわらず 63 件の求人増加となっている。子ども健康学科の定員学生数(入学定員 150 名)に対して業種を絞り込んでも一人当たり 2.26 件の求人件数があり、近年の社会における人材需要に適応している。子ども健康学科においては、現在の保育環境等のニーズに対応し、健康支援の知識・技能を有した保育者を育成することによって、幼稚園・保育園の就職先の拡大を図る。

(3) 学生確保の見通し

今日女子生徒の 4 年制大学志向の中で、短期大学進学希望者が減少傾向にあるのは否定し得ない。しかし、短期大学の保育・教育学分野への進学は依然として一定の数値を維持していることも確かである。本学既設の初等教育科における保育者・教育者養成に対しては、前述の就職実績にも明らかのように地域社会の評価は高く、本学への進学希望者は一定数の確保ができています。

子ども健康学科は、既設の養護教育科および初等教育科が蓄積してきた社会的評価を基盤として、保育・教育現場の新たなニーズに対応し既設の両学科の特徴を発展的に継承しつつ、入学定員を 200 名から 150 名に縮小して、「健康」に関する知識・技能を備えた保育者・教育者を養成する学科として再編成する。

(過去 5 年間の志願者数、入学者数を資料 3 に示す)。

2. 学科の特色

中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の提言する「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」において、高等教育機関のうち、大学は全体として、世界的研究・教育拠点、高度専門職業人養成、幅広い職業人養成、総合的教養教育、特定の専門的分野の教育・研究、地域の生涯学習機会の拠点、社会貢献機能、の各種の機能を併有することが示されている。

九州女子短期大学子ども健康学科は、この答申を踏まえ上記の各種機能のうち、幅広い職業人養成に重点を置く。この機能を果たすために、第 1 に、キャリア支援科目(「キャリアデザイン ~ 」1・2 年次開講、全専任教員担当)を新設し、導入教育の実施を通して中等教育との接続を保障しつつ大学教育の意義を明確にするとともに、職業と学問との関連(大学教育の職業的意義) 自己の適性、並びにキャリア形成等について十分な教育を行う。第 2 に、附属幼稚園等と連携しつつ教育実習等の実習の指導体制を強化するとともに、各教科と実習との関連を明確化して専門的知識・技能を踏まえた実践的力量を育てる。

3. 学科の名称および学位の名称

3.1. 学科の名称

九州女子短期大学は、子ども健康学科の1学科から成る。子ども健康学科は、学科全体において、的確な子ども理解に基づいた「子どもの発達支援を保障する専門的かつ実践的な知識および技能」と「子どもの心身の健康を維持増進する専門的かつ実践的な知識および技能」を学修する環境を構成し、保育士、幼稚園教諭、養護教諭を主として養成する。

そのため教育課程のうち専門教育科目は、「子ども」「保育」「健康」の3つの分野に関する基礎科目と、「発達支援領域」と「健康支援領域」の2領域で構成する基幹科目を中心に構成している。

学科の名称は、子どもの発達支援および健康支援に関わる領域であるという理由により子ども健康学科とした。子ども健康学科の英訳名称は下記のとおりである。

子ども健康学科 : Department of Childhood Care and Education

3.2. 学位の名称

子ども健康学科の学位 : 短期大学士(教育学) : Associate in Education Degree

子ども健康学科の学位名称は、子どもの発達支援および健康の維持増進に関する専門的な知識・技能を有する保育者・教育者を養成するという理由から、「短期大学士(教育学)」とした。また、英語による名称については、国際的に通用するという観点から学問領域を記し、Associate in Education Degree とする。

4. 教育課程の編成の考え方および特色

4.1. 教育課程編成の考え方

子ども健康学科の教育課程は、大きく「教養教育科目」と「専門教育科目」に区分される。各科目区分の下位の科目区分を併せて表示すると、下表のようになる。

《子ども健康学科の科目区分》

子ども健康学科	
科目区分	
教養教育科目	第1群：人文・社会・芸術科目 第2群：健康・自然科目 第3群：外国語・情報科目 第4群：キャリア支援科目
専門教育科目	・基礎科目 ・基幹科目（発達支援領域） （健康支援領域） ・教職関連科目

4.2. 教養教育科目

教養教育科目は、実社会で必要とされる幅広い教養を身につけることを目的とし、第1群「人文・社会・芸術科目」、第2群「健康・自然科目」、第3群「外国語・情報科目」の区分による科目を配置するほか、九州女子短期大学の学是「自律処行」に示され、かつ今日の保育者・教育者の資質として特に求められる、他者との協調性、自己理解力、的確な判断力を身につけるため、新たに第4群として「キャリア支援科目」の区分を設けて、入学時から卒業に至るまで一貫したキャリア教育を実施する。

(1) 第1群：人文・社会・芸術科目

「文章力をつける」(1・2年次開講)、「歴史と文化」(1年次開講)の人文科学系科目に、「暮らしと経済」(1年次開講)の社会科学系科目、「芸術を楽しむ」(1年次開講)の芸術系科目の他に、「異文化交流」(1・2年次開講)等の科目を配置している。

(2) 第2群：健康・自然科目

「生涯スポーツ」、「健康の科学」、「心の科学」(以上、1年次開講)等の健康関連科目と「環境と人間」(1年次開講)等の自然科学系の科目を配置している。

(3) 第3群：外国語・情報科目

外国語科目として、「英語」_Ⅰ、「英語」_Ⅱ(以上、1年次開講)を配置している。

また、情報科目として、「情報処理」_Ⅰ、「情報処理」_Ⅱ(以上、1年次開講)を配置している。

(4) 第4群：キャリア支援科目

「キャリアデザイン」_Ⅰ、「キャリアデザイン」_Ⅱ(以上、1年次開講)、「キャリアデザイン」_Ⅲ、「キャリアデザイン」_Ⅳ(以上、2年次開講)の4科目を必修科目として配置している。

(九州女子短期大学キャリアデザイン ~ の概要を資料4に示す)。

上記の第1群～第3群の諸科目は、前掲の九州女子短期大学学則第1条「本学は、教育基本法に則り学校教育法の定めるところにより広く深い知識と教養を授けると共に、職業教育に重点を置く高等教育を施し、良識と技能をそなえた心身共に健全な女性の育成を目的とする」という本学の目的・理念に則って開講される。

第4群に配置するキャリア支援科目は、中央教育審議会等の各種答申においてキャリア教育の重要性が謳われていることに鑑みて、学是「自律処行」に示され、かつ今日の保育者・教育者に特に求められる資質である、他者との協調性、自己理解力、的確な判断力を育成するとともに、適正な職業観を培い学生の主体的な職業選択を支援するために新たに開設するものである。「キャリアデザイン」_Ⅰから「キャリアデザイン」_Ⅳはすべて必修科目であり、2年間を通して開設し、子ども健康学科の専任教員全員が担当する。

「キャリアデザイン」_Ⅰ(1年次前期開講)では、主に、自己の人生設計と2年間の大学生活を描くこと、本学の学問領域とそれに対応する職業について理解すること、そして各職業と自己の適性とを診断することを行う。

「キャリアデザイン」_Ⅱ(1年次後期開講)では、「キャリアデザイン」_Ⅰで描いた設計と適正に基づき、「保育士・幼稚園」、「養護教諭」、「医療」、「一般企業」の4コース別に基礎的能力と適正な職業観を培う。

「キャリアデザイン」_Ⅲ(2年次前期開講)は、「保育士・幼稚園」、「養護教諭」、「医療」、「一般企業」の各コースに対応した各施設・機関における実習体験のフィードバックを行うとともに、採用試験や進学試験に対応した各種講座を通して、学生個々が目標とする就職現場の具体的なニーズを理解することを主たる内容とする。

「キャリアデザイン」_Ⅳ(2年次後期開講)は、直前に迫った就職の準備として、特に社会の各組織における人間関係の構築のための基礎的知識・技術を習得すること、また、卒業後の自己の生活設計や学びの継続について考えることを支援する。

4.3. 専門教育科目

子ども健康学科の専門教育科目は、基礎科目、基幹科目および教職関連科目に区分し、本学科の教育研究上の目的である「乳幼児期から青年期に至る子どもの成長・発達の科学的理解及びその科学的理解に基づく心身の健やかな成長・発達を支援する専門的知識・技能について学び、確かな子ども理解と健康観に支えられた発達と健康維持・増進を支援す

る実践的力量を修得させる」という観点から、発達支援領域と健康支援領域の専門的知識・技能を学ぶ科目を配置している。

(1) 基礎科目

基礎科目は、「子ども」関連科目（子ども理解と発達支援に関する科目）「保育」関連科目（保育の実践的知識・技能に関する科目）「健康」関連科目（心身の健康の維持増進に関する科目）の学科の基礎的な科目により構成する。基礎科目においては、「子ども学」、「乳児保育」および「精神保健」の3科目を必修科目として配置している。「子ども学」は、「子ども」について歴史的視点、社会的視点ならびに文化的視点から多角的に学ぶ科目である。「乳児保育」は、「保育」関連科目のなかで特に心身の発達支援および健康支援の知識・技能が要求される乳児のケアについて学ぶ科目である。「精神保健」は、「健康」関連科目のなかで子どもの精神的ケアを中心に学ぶ科目である。これら3科目は、本学科の基礎科目のなかで最も基本的な科目であるため、必修科目として配置している。

(2) 基幹科目

基幹科目は、発達支援領域と健康支援領域の2領域から成る。2領域に構成することによって、学生が希望する進路に応じて「発達支援領域」あるいは「健康支援領域」のいずれかに軸足を置きながら、両領域の専門的知識・技能を習得させる。

発達支援領域

保育・教育および心理の分野を中心に編成した科目群で、子どもの心身の健やかな成長・発達を支援する知識・技能を体系的に学修できるよう科目を配置している。

健康支援領域

学校保健および看護・医療の分野を中心に編成した科目群で、子どもの心身の健康の維持増進に関する知識・技能を体系的に学修できるよう科目を配置している。

(3) 教職関連科目

教職関連科目は、教員免許取得および保育士資格取得のために必要とされる科目を配置し、1年次から2年次までの体系的な学修が可能な科目を配置している。

4.4. 履修順序（配当年次）の考え方

子ども健康学科における履修については、以下の3点を基本に科目の年次配当を行っている。第1に、教養教育科目（第1群～第3群）は1～2年次に履修可能となるように配当する。第2に、教養教育科目第4群の「キャリア支援科目」（「キャリアデザイン」～「キャリアデザイン」）は、導入教育からキャリア形成、そして就職および進学へと繋がるように内容を構成しており1年前期から2年後期まで配当する。第3に、専門教育科目は、基礎科目、基幹科目、教職関連科目の区分を行うことにより、基礎的内容、応用・発展的内容を順次学修するように配当する。

以上の基本的な考え方に加えて、「キャリア支援科目」において4期に区分して順次配当される内容（「大学での学びの意味」、「自己の適正診断」、「コース決定」および「適職判断と就職準備」）が、他の教養教育科目および専門教育科目の履修順序と整合性を持つよう配慮している。

4.5. 教養教育の実施方針、教養教育における教育課程編成上の具体的工夫

子ども健康学科における教養教育は、知識基盤社会を生きていくための基礎的能力を培うとともに、職業人として社会における自己の位置を明確に定位するために必要な素養を培うことを目的としている。この目的を達成させる科目として「教養教育科目」（第1群～第4群）を配置している。

第 1 群～第 3 群の科目は、すべて選択科目として配置し、学生の関心に応じた自由な選択を可能としている。また、学生が自らの個性にあった履修計画に基づいて、幅広く学修することを保証するため、各科目区分の最低修得単位数の設定を行っている。

第 4 群「キャリア支援科目」は、子ども健康学科における教養教育の特色として位置づけられるものであり、すべて必修科目として配置している。この科目は、本学科所属の専任教員が全員で細やかな指導を行うものであり、前述の「職業人として社会における自己の位置を明確に定位する」ことを主眼とし、2年間を通して体系化された教育内容を整備して、当該科目は、専門教育科目において学修する専門的知識・技能を実践的力量として発展させる契機とすることを旨とする科目である。

5. 教員組織の編成の考え方および特色

5.1. 教員配置の計画

子ども健康学科は、教育学・保育学および保健衛生学の複合領域を学問領域とし、専門教育科目においては、各分野に関わる学問分野を主専攻とする教員が担当する。子ども健康学科に所属する専任教員は完成年度において 14 名である。専任教員 14 名のうち、教授が 6 名、准教授が 2 名、講師が 6 名であり、学位別には、博士号取得者 2 名、修士号取得者 9 名、学士号取得者 3 名である。

子ども健康学科の専門教育科目のうち、基礎科目および基幹科目の中心となる科目については、専任教員が担当するよう配慮している。また、「教職関連科目」についても中心となる科目については、専任教員が担当するよう配慮している。

5.2. 教員組織の年齢構成について

子ども健康学科の専任教員は、完成年度において、30～39 歳が 2 名、40～49 歳が 2 名、50～59 歳が 6 名、60～64 歳が 1 名、65～70 歳が 2 名、70～75 歳が 1 名である。

福原学園就業規則第 36 条第 1 項では、大学教員の定年について、教授 65 歳、准教授・講師・助教・助手については 60 歳と規定されている。なお、定年年齢が 60 歳で退職する教職員について、本人が希望し、労使協定で定める継続雇用の基準に該当する者は、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」(昭和 46(1971)年法律第 68 号)第 9 条第 1 項第 2 号の規定に基づき、最高 65 歳に達した日の属する年度末まで 1 年契約の更新により継続雇用することができる旨、福原学園就業規則第 36 条第 3 号に規定するとともに、「福原学園継続雇用規程」にその詳細を定めている。

また、大学等が教育指導上特に必要とする教員については「福原学園所管大学等特任教員に関する規程」に基づき、年齢 70 歳に達する年度まで特任教授、特任准教授および特任講師として契約期間 3 年(1 年契約で最長 2 年の契約延長が可能)の雇用が可能である。

70～75 歳に該当する教員については、特任教員として平成 22(2010)年 4 月 1 日付で採用され、完成年度までの教育体制を維持する必要性に鑑み、契約期間 3 年の雇用を予定している。

年齢 70 歳を超えての雇用については、平成 15(2003)年度の理事会決定事項である「改組・統合における新学部等の設置に必要な新規採用者が定年年齢を超える場合、必要最小限の期間に限定し、契約職員として雇用することができる」とした「特例の取り扱い」に該当するとして、採用時における常務理事会において、平成 24(2012)年度末までの雇用が承認されている。

6. 教育方法、履修指導方法および卒業要件

6.1. 卒業に要する単位の修得区分

卒業に必要な各履修区分における修得単位数は以下のとおりである。

子ども健康学科				
履修区分		卒業要件単位		
(A)教養教育科目	a)第1群：人文・社会・芸術科目	2単位以上	11単位以上	62単位以上
	b)第2群：健康・自然科目	3単位以上		
	c)第3群：外国語・情報科目	2単位以上		
	d)第4群：キャリア支援科目	4単位		
(B)専門教育科目	a)基礎科目	8単位以上	28単位以上	
	b)基幹科目 (発達支援領域) (健康支援領域)	主たる領域から 20単位以上		
	c)教職関連科目			
合計単位数		62単位以上		

(1) 教養教育科目

次の区分ごとに所定の単位を修得する。(合計11単位以上)

- a)第1群：人文・社会・芸術科目 2単位以上を修得する。
- b)第2群：健康・自然科目 3単位以上を修得する。
- c)第3群：外国語・情報科目 2単位以上を修得する。
- d)第4群：キャリア支援科目 4単位を修得する。

(2) 専門教育科目

次の区分ごとに所定の単位を修得する。(合計28単位以上)

基礎科目については、必修を含め8単位以上を修得し、基幹科目については、主たる領域から20単位以上を修得する。

- a)基礎科目：8単位以上を修得する。
- b)基幹科目：主たる領域から20単位以上を修得する。

6.2. 教育方法

授業の受講者数については、教養教育科目第4群キャリア支援科目(「キャリアデザイン～」)を全専任教員が担当するため、これらの科目は10名程度の少人数規模(クラス)で2年間を通して細やかな指導に当たるほか、基本的に講義は約100名、演習・実技・実習は約50名を上限とする。

各科目区分における教育方法は以下のとおりである。

(1) 教養教育科目(第1群：人文・社会・芸術科目、第2群：健康・自然科目、第3群：外国語・情報科目)

第1群の科目は、人文科学・社会科学・芸術の分野を横断的に履修する。人文・社会・芸術科目では、9科目を配置し、2単位を卒業要件単位として設定している。

第2群の科目は、健康・自然分野を履修する。健康・自然科目では、4科目を配置し、3単位を卒業要件単位として設定している。

第3群の科目は、外国語・情報分野を履修する。外国語・情報分野では、4科目を配置し、2単位を卒業要件単位として設定している。

(2) 教養教育科目(第4群:キャリア支援科目)

学士課程教育におけるキャリア教育の重要性に鑑み、子ども健康学科においてはキャリア支援科目4科目を必修科目として配置し、4単位を卒業要件単位として設定する。年次進行によりキャリア形成を行う必要があるため、2年間を通して「キャリアデザインⅠ」(1年次開講)、「キャリアデザインⅡ」(2年次開講)の4科目を開講する。

これらの科目は、14名の特任教員がそれぞれ10名程度の学生を担当し(アドバイザー制)導入教育の支援・指導、教養教育と専門教育との接続を強化する支援・指導および専門教育と就職との接続を強化する支援・指導を2年間通して実施する。

(3) 専門教育科目(基礎科目・基幹科目・教職関連科目)

子ども健康学科の設置の趣旨の観点から、基礎科目に「子ども」「保育」「健康」の3つの分野に関する科目を12科目配置し、そのうち、「子ども学」「乳児保育」「精神保健」の3科目を必修科目として配置し、3科目すべて特任教員が担当する。

基礎科目は、学生が学科共通の基本的知識・技能を修得するものとして位置づけており、多くの科目を1年次に配当し、8単位以上を卒業要件単位として設定している。

基幹科目は、発達支援領域に27科目、健康支援領域に32科目を配置し、主たる領域から20単位以上を卒業要件単位として設定している。学生は、キャリア支援科目における細やかな指導を通して自己に適した学びと職業を見据えつつ、発達支援領域と健康支援領域のいずれかに軸足を置いて、希望する免許・資格取得に対応する所定の単位を履修できるように配慮している。

6.3. 履修指導方法

履修指導に関しては、入学時の新入生オリエンテーション時に、教務ガイダンスを設けている。教務ガイダンスは、学科の教務委員と教務課職員の協働により実施される。具体的には、学生配布用の履修ガイド(『教務ガイダンス』)および履修規程に基づき、卒業要件区分毎の履修方法等について指導を行う。

また、本学では入学生を対象として1泊2日の学外研修を入学式後の4月上旬に実施している。この研修では教育理念と教育上の目的の理解を深めるとともに入学後間もない学生が大学生活を円滑に適應できるよう、仲間作り、生活指導に加え、学科教員を中心に履修指導を行っている。学生は学外研修を通じて自身の目標に沿った履修計画を作成する。この学外研修は学生からも好評であり、初年次導入教育の一環として、改組後の入学生に対しても同様の取り組みを実施する。

さらに、教務ガイダンスや学外研修において理解できなかった事項への質疑等は、教務課職員およびクラス担任が対応しており、指導体制には万全を期している。

6.4. 履修モデル

子ども健康学科では、学生の進路に応じて基幹科目の「発達支援領域」「健康支援領域」のいずれかに軸足をおきながら、両領域の基礎的な知識・技能を修得する。それぞれの領域ごとの履修モデルの考え方を以下に示すとともに、具体的な履修モデルを資料5として添付する。

(1) 専門教育科目の修得単位数に関する基本的事項

- 1) 基礎科目の中から必修を含み8単位以上を修得する。
- 2) 基幹科目では「発達支援領域」「健康支援領域」いずれかに軸足をおき、主となる領域から20単位以上を修得する。

(2) 各領域における履修モデルの考え方

1) 発達支援領域

「子ども学」、「乳児保育」、「精神保健」(以上、1年次開講)の3科目を両領域の基礎的な科目とし、必修科目に位置付け、乳幼児期から青年期への発達段階における基礎的な事項を理解させるため、基礎科目より「保育原理」、「発達心理学」、「小児保健」(以上、1年次開講)を履修させる。

乳幼児期の発達段階の理解と援助において必要な領域(人間関係、言葉、環境、表現。健康については、健康支援領域に配置)を中心に履修させるとともに、保育の分野で重要な科目を併せて履修させる。

子どもの心身の健康維持・増進に係る基礎的な知識についても理解が必要なため、健康支援領域からも主要な科目を履修させる。

2) 健康支援領域

「子ども学」、「乳児保育」、「精神保健」(以上、1年次開講)の3科目を両領域の基礎的な科目とし、必修科目に位置付け、健康支援の基礎的な事項を理解させるため、基礎科目より「児童福祉」、「看護学」(以上、1年次開講)「救急処置」(2年次開講)を履修させる。

子どもの心身の発達および健康維持・増進を支援する実践的力量を修得させるため、学校保健および看護・医療関係科目を履修させる。

乳幼児期の発達段階における基礎的な知識についても理解が必要なため、発達支援領域からも主要な科目を履修させる。

6.5. 履修科目の年間登録上限、他大学における授業科目の履修

履修科目の年間登録上限に関しては、単位制の趣旨に鑑みて、その実質化を徹底する。具体的には科目を2年次まで配置し、就職活動の早期化や、それに伴う授業の欠席等への配慮も踏まえ、年間履修登録上限を44単位に設定する。ただし、成績優秀者等の履修上限については、44単位を超えて履修を認める。

また、放送大学や、同一法人(福原学園)の設置校である九州女子大学、九州共立大学との単位互換協定の締結を行っており、当該大学が開講する授業科目を履修することが可能である。もとより、科目履修の主たる対象科目は当該大学・学部にて開講される科目であり、単位互換協定に基づく科目履修は、当該大学・学部の教育課程編成の考え方を前提に行われるものである。今後は、上記の趣旨を堅持しつつ、単位互換が可能な科目の拡充や履修プログラムの構築等、同一法人の設置校間における単位互換制度をさらに発展させ、「学びの幅の広さ」の充実を図る。

7. 施設、設備等の整備計画

7.1. 校地、運動場の整備計画

平成22(2010)年3月31日現在、本学の校地面積は、108,146㎡(うち、運動場の面積30,232㎡)であり、教育施設、研究施設は同一敷地内に設置され、機能的かつ効率的に利用されている。学内の厚生施設としては、学生食堂、保健室を配置している。

また、同一敷地内に給食寮(鶴泉寮【定員312名】鉄筋コンクリート造地下1階付8階建11,266㎡)と自炊寮(銀杏寮【定員16名】鉄筋コンクリート2階建346㎡、福寮【定員7名】木造平屋建138㎡)の学生寮2種類を設置しており、遠方から進学してくる学生に配慮している。今回の改組において新たに整備される校地、運動場はないが、平成20

(2008)年3月に策定された福原学園中期計画に則り、学生、地域社会の目線に立って計画的に整備を進める予定である。

7.2. 校舎等施設の整備計画

平成22(2010)年3月31日現在、本学の校舎面積は43,825 m²であり、短期大学の教育研究活動に使用する主な校舎は、耕学館(鉄筋コンクリート造4階建)、思静館(鉄筋コンクリート造6階建)である。

講義室等の使用については、短期大学全体で講義室を35教室、演習室を35教室配置している。その内訳は、資料6に示すとおりである。また、完成年度である平成24(2012)年度において14名の専任教員の研究室が必要となるが、既存の研究室数が14室設置されているため、研究室数は確保されている。

本学の授業は、併設の九州女子大学と校舎を共用しているが、教室使用については、事務局で管理しており、時間割上、同一曜日、同一時限において開講される授業は、最大で30科目程度であるため、受講者数が増加した場合でも、上述の講義室等で対応は十分可能である(短期大学および併設大学の時間割を資料7に示す)。

7.3. 図書等の資料および図書館の整備計画

(1) 図書の整備計画

平成22(2010)年2月28日現在、本学附属図書館の所蔵する蔵書冊数は162,931冊であり、そのうち本学の子ども健康学科の教育研究活動に必要な社会科学・自然科学の分野の所蔵冊数は38,682冊である。また、学術雑誌141種とデータベース2点(フルテキスト収録5,272種)を整備している。特に、平成19(2007)年10月からEBSCO社データベースAcademic Search Elite(フルテキスト収録2,146種)を導入している。

(2) 図書館の整備計画

本学附属図書館は昭和58(1983)年に竣工され、鉄筋コンクリート造7階建てで延べ床面積2,894 m²である。現在、図書館の閲覧座席数は368席あり、1階から5階の各階に所蔵検索性端末を配備している。また、CD-ROM専用パソコン1台、CD・DVD・LD・ビデオ等の閲覧用AVブース12席、視聴覚室1部屋(最大座席数66席)も整備している。さらに、本学の学生の各種相談に応じるレファレンスカウンターを設置するとともに、図書館活用を促進するため、教員と連携した図書館利用教育も実施している。

授業期間中の閉館時間は平日20時であり、最終授業終了後でも学生が図書館を利用できるよう配慮しており、平成6(1994)年4月から地域住民のために図書館の一般開放も実施している。

学術情報へのアクセスについて、国立情報学研究所の学術コンテンツ登録システムを利用して本学教員の研究論文について複製権と公衆送信権の行使委託を受け、研究紀要第31巻(平成6(1994)年度)から第45巻(平成20(2008)年度)までを電子化してWeb上で閲覧できるようにした。また、本学は国立情報学研究所のILL文献複写等料金相殺サービスとグローバルILLにも登録しており、国内外の大学等との資料の貸借と複写の相互利用に協力している。さらに、本学は私立大学図書館協会、九州地区大学図書館協議会、福岡県・佐賀県大学図書館協議会に加盟し、本学学生が学生証を提示するだけで各大学図書館を利用できるようにしている。平成17(2005)年3月には県内の公共図書館・学校図書館と連携した福岡県図書館協会にも加盟し、地域社会の学術交流にも貢献している。

8. 入学者選抜の概要

8.1. 入学者選抜方針

子ども健康学科では、すでに「1.1.設置の必要性」等において述べたように、乳幼児期から青年期に至る子どもの成長・発達の科学的理解およびその科学的理解に基づく心身の健やかな成長・発達を支援する専門的知識・技能について学び、確かな子ども理解と健康観に支えられた発達と健康維持・増進を支援する実践的力量を修得させることを教育研究上の目的とする。また、上述の教育研究上の目的に基づいて以下の2点を人材養成方針とする。

- (1) 他者との協調性、自己理解力、的確な判断力を培い、自主・自立の人材を養成する。
- (2) 子どもの心身の健やかな成長・発達について深い知識と高い技能を有し、子どもの成長・発達と健康の維持増進を支援する実践的力量をもった人材を養成する。

以上の教育研究上の目的および人材養成方針を行うために、本学が求める学生は、建学の精神（「自律処行」）および人材養成方針を理解し、子どもを通して、また子どもと共に学ぶ意欲がある学生である。具体的には以下のような人物である。

- (ア) 自分のおよび可能性を信じ、それを伸ばそうとする人物
 - (イ) 他者および子どもに対して積極的かつ多様な方法でコミュニケーションを取ろうとする人物
 - (ウ) 子どもの心や身体の発達について関心をもち、学ぼうとする人物
 - (エ) 子どもの人権を守り、子どものための新しい文化や生活を創造する知識や技術を獲得しようとする人物

8.2. 選抜方法、選抜体制

子ども健康学科の入学試験の区分ならびに募集定員は以下のとおりである。

入試区分	子ども健康学科 (150名)
(1) 推薦入試(期・ 期) 1) 一般推薦入試 2) 特別推薦入試 特別指定校推薦入試 指定校推薦入試 同窓生子女推薦入試	(90名)
(2) 一般入試・大学入試センター試験利用入試 1) 一般入試(A日程・B日程・C日程) 2) 大学入試センター試験利用入試(期・ 期・ 期)	(30名) (20名)
(3) AO入試(期・ 期・ 期・ 期)	(10名)
(4) 学力特待生入試	若干名
(5) 特別選抜入試 1) 外国人留学生入試 2) 帰国子女入試 3) 社会人入試	若干名

- (4) 学力特待生入試および(5) 特別選抜入試の定員は、(2) 一般入試等の定員に含む。

子ども健康学科では、前掲の表の入学試験の区分によって、「8.1.入学者選抜方針」に述べた(ア)～(イ)の求める人材像に対応して以下のとおり選抜する。

- (1) 推薦入試は、1) 一般推薦入試と 2) 特別推薦入試に区分され、別日程で実施する。
 - 1) 一般推薦入試は、、 期で実施し、選抜方法は、調査書・面接の評価点によって総合的に判定する。
 - 2) 特別推薦入試は、特別指定校（併設高等学校）の推薦入試、指定校推薦入試、同窓生子女推薦入試に区分され、調査書・面接の評価点によって総合的に判定する。推薦入試は、全てにおいて面接を課するものであり、入学者選抜方針の(ア)および(イ)を特に重視した選抜方法である。
- (2) 一般入試は、1) 一般入試と 2) 大学入試センター試験利用入試に区分される。
 - 1) 一般入試は、A、B、C 日程で実施され、A、B、C 日程入試は共に 1 科目入試とする。
 - 2) 大学入試センター試験利用入試は、、、、 期があり、それぞれ日程を分けて実施する。選抜方法は筆記試験の点数により上位の者から選考する。一般入試は、入学者選抜方針の(ウ)および(イ)を重視した選抜方法である。
- (3) A0 入試は、基礎的な学力を前提としつつ、エントリーカード、面談、課題および調査書により評価を行い、受験生の意欲や目的意識・専門への可能性などを総合的に評価する人物重視型の入試であり、入学者選抜方針(イ)および(イ)を特に重視した選抜方法として位置づける。出願期間は、(8月～9月)、(9月～10月)、(12月)、(2月～3月)期の出願とする。
- (4) 学力特待生入試は、学力試験の成績上位者を授業料免除という条件で受け入れる入試である。
 - 1) 一般入試の A、B 日程、または 2) 大学入試センター試験利用入試、、 期を利用し、選抜方法は 2 科目の総合計点に基づき上位の者から選考する。学力特待生入試は、入学者選抜方針(ア)、(ウ)および(イ)を重視した選抜方法である。
- (5) 特別選抜入試は、外国人留学生入試、帰国子女入試、社会人入試から成る。いずれも入学者選抜方針(ア)および(ウ)に重点を置いた入試であり、選考方法として小論文および面接を行う。特に社会人入試は、地域社会に開かれた大学として、学習意欲を持った幅広い年齢層の社会人に対し門戸を開き学習の機会を提供する制度であり、高等学校を卒業または卒業と同等以上の学力を有し、社会人の経験を 4 年以上有していることを条件に受け入れている。

8.3. 科目等履修生・聴講生の受け入れについて

本学において、本学学生以外の者で本学の授業科目の履修を希望する者は、一定の手続きを経て、一部の科目を除き、受け入れる体制を整えている。

科目等履修生は、本学学則第 18 条に規定した資格を有する本学の学生以外の者で、教授会において適当と認められる者である。科目等履修生には、1 又は複数の授業科目を履修することによって、単位を与えることができる。科目等履修を許可する期間は 1 年又は半年とするが、願い出により履修を継続することができる。また、履修した授業科目の試験に合格した者には、単位修得の証明書を交付する。

聴講生は、本学学則第 18 条に規定した資格を有する者で、教授会において適当と認められる者である。聴講期間は 1 年以内であり、原則として演習科目および受講生制限科目以外は聴講を許可できる。

9. 取得可能な資格および実習の具体的計画について

9.1. 子ども健康学科において取得可能な資格

既設の養護教育科と初等教育科で取得可能な免許・資格（「幼稚園教諭二種免許状」、「養護教諭二種免許状」および「保育士」）を引き続き取得可能とする。

< 取得可能資格等一覧 >

子ども健康学科		
幼稚園教諭二種免許状	国家資格	文部科学省
養護教諭二種免許状	国家資格	文部科学省
保育士	国家資格	厚生労働省
医療管理秘書士（受験資格）	協会資格	医療教育協会
病歴記録管理士（初級）（受験資格）	協会資格	医療教育協会

9.2. 実習の具体的計画

子ども健康学科における学外での実習については、教育職員免許法で定める「教育実習」、「養護実習」および児童福祉法で定める「保育所実習」、「施設実習」を設定している。実習先の学校および施設の確保の状況は以下のとおりである。（「教育実習」「養護実習」施設の承諾書の写しを資料8、「保育所実習」「施設実習」施設の承諾書の写しを資料9に示す）

(1) 教育実習

幼稚園教諭としての教育実習は原則として学生自身の出身園で実習を予定しているが、北九州市教育委員会や中間市教育委員会と連携を行い、所管の幼稚園で実習を行わせる他、本学の附属施設である2つの幼稚園（折尾幼稚園および自由ヶ丘幼稚園）と連携し円滑な実習を実施する。

(2) 養護実習

養護教諭としての養護実習は小学校・中学校・高等学校での実習が可能であるが、学科設置の趣旨にあるとおり、子どもの理解と健康観に支えられた発達および健康維持・増進を支援する実践的力量を修得させるため、原則として小学校で実施する。

基本的には、学生自身の出身の小学校で実習を予定しているが、北九州市教育委員会や中間市教育委員会と連携を行い、所管の小学校等で円滑な実習を実施する。

(3) 保育所実習

一部の学生は出身保育園で実習を行うが、多くの学生は本学が属する北九州市内の保育園で実習を行う。そのため、北九州市保育課や同市内の各保育園と緊密な連携を行い、円滑な実習を実施する。

(4) 施設実習

北九州市内の児童養護施設のみならず福岡県内の児童養護施設と緊密な連携を行い、円滑な実習を実施する。

これらの実習に係る各学校および各施設の受け入れ可能人数については、毎年、関係部局との協議、調整の上で人数が確定されるため、実習予定学生に対して十分な受け入れ先が確保できる。

9.3. 実習水準の確保の方策

(1) 教育実習および養護実習

教育実習については、実習前までに実習に必要な科目を修得させる方策を講じるとともに、それぞれの学習指導要領に基づき指導案が作成できるように指導する。また、実

習直前に模擬授業の実施や実習経験者(卒業生等)による実習体験報告会等を催し、円滑な実習ができるような方策を講じる。

また、全学組織として「教職課程委員会」を設置し、教育実習のみならず教職課程全般にわたる資質向上の検討を行う。

(2) 保育所実習および施設実習

保育士資格取得に係る実習については、実習前までに実習に必要な科目を修得することを前提とし、一定の科目が修得できていない場合は、実習を中止する方策を講じる。

実習については、初期段階から順に、見学実習、観察実習、参加実習、指導(責任)実習に分け実施する。

実習前の事前指導としては、「実習の意義と目標」、「実習の種類と内容」、「実習の心構え」、「実習に必要な書類」、「実習施設への事前訪問」、「実習開始までの準備」を学生に教授するとともに、実習経験のある学生による後輩学生を対象とした実習報告会を実施し、主体的な学びの場を提供する。さらに模擬実習を導入し、より円滑な実習ができるよう方策を講じる。

保育士および施設実習に関しても教育実習同様、全学組織である「教職課程委員会」にて資質向上の検討を行う。

9.4. 実習先との連携体制

(1) 教育実習および養護実習

実習に関する事項の全般および注意事項等のオリエンテーションを実施している。また、「北九州市教育実習連絡協議会」に加盟し、教育実習に関して、幼・小・中・高等学校および特別支援学校の代表者との情報交換を積極的に行う。

(2) 保育所実習および施設実習

年間を通じて、現職の施設長や保育所長を外部講師として招聘し、保育所実習および施設実習に関するオリエンテーションを実施している。そのオリエンテーションを通して実習の意義や具体的内容等について学生の理解を図ると共に常に実習先との連携を強化する。また、「全国保育士養成協議会」に加盟し、保育実習をはじめとする全国的な保育士養成に関する情報の収集および交換等を行うと同時に、「北九州地区児童養護施設実習連絡協議会」にも加盟しており、現在の実習先の現状や問題点に関する情報を積極的に取り入れる。

9.5. 事前・事後における指導計画

(1) 教育実習および養護実習

1) 事前指導

教育実習オリエンテーション

現職教員や教育委員会指導主事および前年度教育実習を行った実習生から教育実習の体験談を聞き教職の重要性について認識する。

教育実習に対する心構え

教職の職務とその特殊性および服务内容と教育事務一般について指導する。

人権教育

国民的課題としての基本的人権を踏まえ、相手の立場を理解する指導の必要性について認識する。

学習指導案の作成と検討

教科および教科外科目の学習指導案作成の要点を指導し、実際に作成する。

模擬授業の実施

教材および教科外科目の模擬授業を行い、指導法を研究する。

2) 事後指導

実習体験発表

教育実習時の体験を他の実習生の前で発表し、互いに評価し合う。

実習評価と反省

個人の体験および他の実習生の体験を交えて今回の実習のまとめと反省を行う。

(2) 保育所実習および施設実習

1) 事前指導

学内における学習と実習との関係

実習生としての心構え

「実習生の立場」「実習施設の保育方針の理解と尊重」「子どもから学ぶ姿勢」「保育士の職務と服务内容」

望ましい実習生

事前学習

「教材の研究」「子どもの発達的特質や保育上の問題ならびに保育者として留意すべき点」「実習記録の方法と意義」「指導案の作成方法の復習」

2) 事後指導

実習の事後指導は、実習生が実習中に記録、立案、作成した「日誌」「計画」「記録」からなる「実習の記録」の内容を活用して、実習生の体験や反省、気づきなどを具体的に取り上げて検討する。この指導を通して、実習後の学習に向けて新たな課題や目標を明確にする。

9.6. 教員および助手の配置ならびに巡回指導計画

(1) 教育実習および養護実習

教職課程担当教員が教育実習先訪問計画書を作成し、専任教員による実習先訪問を実施する。訪問時期は原則として、査定授業の日時とする。実習先訪問ののち、訪問報告書に基づいて検討を行い、実習および実習先訪問の改善に資する。

(2) 保育所実習および施設実習

保育士科目担当教員が保育所および施設の巡回指導計画書を作成し、専任教員による巡回指導ののち、訪問報告書に基づいて検討を行い、実習および実習先訪問の改善に資する。

9.7. 実習施設における指導者の配置計画

(1) 教育実習および養護実習

教職課程担当教員および教科（養護教諭）指導担当教員が連携し、教職課程委員会の議を経て指導者の配置計画を行う。

(2) 保育所実習および施設実習

保育士科目担当教員が保育士関連科目の各担当教員と連携し、教職課程委員会の議を経て指導者の配置を行う。

保育士関連科目の担当教員8名で各実習期間中に当該施設を巡回し、学生に対する指導および受け入れ施設の指導保育士等と協力して実習指導が行える体制を整備する。

9.8. 成績評価体制および単位認定方法

(1) 教育実習および養護実習

実習先から返却された「教育実習評価表」および実習学生から提出される「教育実習

日誌」に基づき、事前事後指導の成績を加味し、教職課程担当教員が総合的に評価し、単位認定を行う。

(2) 保育所実習および施設実習

実習先から返却された「保育実習評価表」および実習学生から提出される「保育実習日誌」等に基づき、事前事後指導の成績を加味し、保育士科目担当教員が総合的に評価し、単位認定を行う。

10. 管理運営

教学における管理運営については、九州女子大学評議会（以下「評議会」という。）および九州女子短期大学教授会を中心に運営がなされている。

まず、教授会は、学校法人福原学園寄附行為施行細則第14条第1項、九州女子短期大学学則第8条第1項に置くことが規定されており、「各大学（学部のある大学にあっては、各学部）の教育・研究に関する重要事項を審議する」（学校法人福原学園寄附行為施行細則第14条第2項）機関として位置付けられる。

教授会は、所属する専任の教授・准教授・講師および助教で構成される。また、教授会の審議事項は、九州女子短期大学教授会規則によって以下のとおり規定されている。

- (1) 教員の選考、進退、名誉教授の推薦その他教員の人事に関する事項
- (2) 常勤教員の職務兼務又は兼業、及び非常勤教員の選考及びその職務に関する事項
- (3) 短期大学部長(以下「短大部長」という。)候補者の選考及び推薦に関する事項
- (4) 短期大学長(以下「短大学長」という。)が九州女子大学長と併任であるときは、九州女子大学評議員（以下「評議員」という。）候補者の選考及び推薦に関する事項
- (5) 本学に係る役職候補者の選考及び推薦に関する事項
- (6) 学則その他規則等の制定又は改廃に関する事項
- (7) 教育、研究及び運営に関する事項
- (8) 自己点検・評価及び学生の授業評価に関する事項
- (9) 本学の予算に関する事項
- (10) 本学の教育課程の編成に関する事項
- (11) 学生の入学、卒業又は課程の修了その他在籍に関する事項
- (12) 学生の福利厚生、賞罰等に関する事項
- (13) 短大学長の諮問事項、短大部長及び各委員会からの提案に関する事項
- (14) その他本学に関する重要事項

教授会は、原則月1回開催し、九州女子短期大学教授会規則で規定された上記の審議事項に則って審議を行っている。また、必要に応じて臨時の教授会を開催し、迅速な意思決定を図るようにしている。

一方、評議会は、併設する九州女子大学の学長が本学の学長を併任する場合に、九州女子大学評議会に短大学長、副学長、教授会選出の教授、図書館長、教務部長、学生部長、入試部長、事務局長、九州女子短期大学組織規則第13条に定める各課の課長が構成員となり、九州女子短期大学の管理運営に関する重要事項について審議を行っている。九州女子大学評議会は、学校法人福原学園寄附行為施行細則第13条、九州女子大学学則第10条に置くことが規定され、九州女子大学・九州女子短期大学の管理運営に関する重要事項を審議する。

また、評議会は、学校法人福原学園寄附行為施行細則第13条第3項に「評議会は、その議決をもって教授会の議決に優先する」と規定されており、本学における最高議決機関として位置付けられる機関である（九州女子大学評議会規則を資料10に示す）。

評議会の審議事項は、九州女子大学評議会規則によって以下のとおり規定されている。

- (1) 教育研究上の目的を達成するための基本的計画に関する事項
- (2) 学則その他規則等の制定又は改廃に関する事項
- (3) 予算の見積りの方針に関する事項
- (4) 学部、学科その他重要な組織の設置又は改廃に関する事項
- (5) 学生の定員に関する事項
- (6) 教員人事の方針に関する事項
- (7) 教育課程の編成に関する方針に係る事項
- (8) 学生の厚生及び補導に関する方針に係る事項
- (9) 学生の入学、卒業又は課程の修了その他在籍に関する方針及び学位の授与に関する方針に係る事項
- (10) 教育研究活動等の状況について本学が行う評価に関する事項
- (11) その他全学的な運営に関する重要事項

教授会において審議された事項が、評議会の審議によって最終的に決定される。ただし、上記(1)「教育研究上の目的を達成するための基本的計画に関する事項」、(4)「学部、学科その他重要な組織の設置又は改廃に関する事項」、(10)「教育研究活動等の状況について本学が行う評価に関する事項」については、主として評議会において審議・決定する事項であり、必要に応じて教授会の意見を徴し、全学的な管理運営を図っている。

また、九州女子短期大学教授会規則第6条に「教授会は、必要に応じ常設又は臨時の委員会を設置することができる」と規定し、本学の管理運営を円滑に行うために、各種委員会を設置している。本学に設置している主要な各種委員会として、入試委員会、教務委員会、学生部委員会、就職委員会、ファカルティ・ディベロップメント推進委員会等が挙げられ、各種委員会において全学的な観点から各部門における管理運営の詳細な内容について審議が行われている。審議結果については、必要に応じ教授会にて審議を行い、最終的に評議会において審議決定される。

11. 自己点検・評価

11.1. 実施方法

本学では、「九州女子短期大学自己点検・評価実施規程」に基づき、九州女子短期大学自己点検・評価委員会（以下、「本委員会」という。）を設置し、年度毎に大学全体の点検・評価実施に関する基本方針を定めている。

また、「九州女子短期大学自己点検・評価実施細則」に則り、各学科、事務局および各種委員会等、各組織に自己点検・評価小委員会（以下、「小委員会」という。）を設けている。各組織の小委員会は、本委員会の基本方針に沿って年度毎に到達目標を定め、それぞれの点検・評価項目について点検・評価を実施している。さらに、本委員会は組織毎に行われた点検・評価を検証し、これを公表している。

11.2. 実施体制

審議機関である本委員会は、学長を委員長として、学科から選出された教員2名（任期2

年、1年毎に半数改選)および学長が推薦する教職員若干名(任期2年)で構成される。

学科、事務局等および各種委員会等には、それぞれ自己点検・評価に係る小委員会が置かれ、その委員構成は、3名以上5名以内を基準としている。事務局と学科で基礎データを作成し、そのデータ等を活用し、小委員会が点検・評価を行っている。このように組織的に点検・評価を行う体制となっている。

また、小委員会が行った点検・評価内容を本委員会の下に設置した自己点検・評価報告書作成部会で取りまとめ、本委員会の審議を経て報告書を作成している。

11.3. 結果の活用・公表

本学では、平成5(1993)年から年度ごとに教育・研究等について検証し、その結果を「自己点検・評価報告書」として取りまとめ、公表するとともに、平成12(2000)年から3度にわたり大阪成蹊女子短期大学(現 大阪成蹊短期大学)との間で相互評価を実施してきた。

現在、学生への教育サービス、生活支援の充実、教育環境の整備等に関する「九州女子大学・九州女子短期大学中期計画」(以下、中期計画という。)を策定し、年度ごとのアクションプランを立て、大学改革を実施している。平成20(2008)年度からは、自己点検・評価の結果をまとめた報告書や中期計画をWeb上でも公表している。

また、教員個人の教育研究に関する活動状況は、平成8(1996)年度以降、「研究者総覧」を隔年で発行しており、現在ではWeb上で公表している。

11.4. 評価項目

評価項目については、九州女子短期大学自己点検・評価実施規程第3条に基づき以下のとおり設定されている。

- (1) 各学科の理念・目的の点検・評価に関すること
- (2) 教育課程の点検・評価に関すること
- (3) 教育研究活動の点検・評価に関すること
- (4) 入試制度の点検・評価に関すること
- (5) 社会活動等の点検・評価に関すること
- (6) 教育研究組織、施設設備、体制等の整備状況に関すること
- (7) その他必要と認めるもの

12. 情報の提供

大学設置基準第2条において規定されている情報の積極的な提供について、本学では、建学の精神、各学部学科の教育目標、人材育成方針、教員の研究活動および財務状況についてホームページ、各種冊子に掲載し、学生、教職員、父母、社会人に広く周知を図るよう努めている。

また、学園の広報誌(年2回発行)「Liberty」においては、学園内の各種イベントの告知およびイベント等の報告を兼ねて掲載している。

さらに、平成18(2006)年度より学園内において、年1回「福原学園ファクトブック」を発行し、設置学校ごとの組織、専任教員数、学生数、入試データ、退学データ、奨学金、就職状況、外部資金採択件数、財政状況について公表している。

今後は、学部の設置の趣旨、履行状況等についても広く公表し、一層の情報提供に努めることとする。

13. 教員の資質の維持向上の方策

13.1. 授業の内容および方法の改善を図るための組織的な取組

教員の資質の維持向上策としては、教務委員会および自己点検・評価委員会を中心とし検討していたが、平成 20(2008)年度より、ファカルティ・ディベロップメント推進委員会を設置し、全学的委員会として正式に位置付けを行った。ファカルティ・ディベロップメント推進委員会の任務は、以下に示す事項を審議し、推進を図ることとしている。

- (1) 教育の質的向上に向けた諸施策の企画、立案、実施に関する事項
- (2) 研修会及び講習会の企画、運営に関する事項
- (3) 学生による授業評価等の企画、実施、改善に関する事項
- (4) その他必要と認める事項

13.2. 具体的な教員の資質維持向上方策

本学では、専任教員・非常勤講師を問わず、原則全授業科目について、授業フィードバックアンケートを実施し、その集計結果を各教員に配布している。集計結果に記載された内容に対して教員ごとに所見および今後の改善への展望を記した「所見票」の提出を義務付けている。この所見票はファイリングされ、九州女子大学・九州女子短期大学附属図書館で公開されている。

また、授業フィードバックアンケートの結果について、全学的に分析を行い、授業の内容、方法に関する問題点を明らかにし、次年度に向けて全学的に改善に取り組むこととしている。

さらには、授業内容および方法の改善を図るための研究として、所属教員に授業を公開し、教員相互の授業参観制度による授業改善のシステムを導入している。授業改善に関する方策として、このほかに授業記録の作成による授業の客観的評価も実施する予定である。

加えて、ファカルティ・ディベロップメント推進委員会を中心として教員の資質向上を目的とした教員必携マニュアル「教員ハンドブック～授業方法について～」を作成し、非常勤講師を含めた全教員に配布している。これは、本学の教育に携わる全教員が、授業実施に際し、本学の教育理念や学是を念頭に、より良い授業を実現するための知識や留意点など、授業改善のための指針やヒントが詰まった冊子となっており、広く教員に周知・活用されている。

このほか、ファカルティ・ディベロップメントの観点から、本学教員の教育力・研究力の向上と社会的貢献への寄与を目的とし、九州女子短期大学教員評価委員会要綱を定め九州女子短期大学教員評価委員会(以下「教員評価委員会」という。)を設置した。この評価は以下のような手順で実施される。

まず、教育・研究・組織の管理運営・社会貢献の 4 領域について自己評価による基礎資料を作成・提出し、学科教員評価委員会において改善点などの助言を含めた総合評価を行い、この評価結果を教員評価委員会へ提出する。教員評価委員会では、提出された資料およびデータに基づく評価結果を検討し、結果を被評価者に対し通知する。これにより、各教育職員は、自身の教育・研究・大学運営・社会貢献のあり方について目標を持ち年度ごとに計画・評価できるものとなっている。

14. 社会的・職業的自立に関する指導等および体制について

14.1. 教育課程内の取組について

子ども健康学科では、学生個々に適応したキャリア形成支援を行うため、教育課程において教養教育科目第4群「キャリア支援科目」を開設し、2年間4期を通じて、自己の適性診断、社会人として自主・自立の人材育成、適正な職業観の育成および具体的職業選択と準備等、順次プログラムに沿って指導を行い、卒業後も社会に適応しうる人材に育成し、本学の学生支援に対する満足度を高めるとともに、本学独自の学士力の向上に努める。

14.2. 教育課程外の取組について

九州女子短期大学の取り組みとして、学生生活を充実させ社会に適応できる学生の育成を行うために、厚生補導を通し以下の業務・事業を実施する。

(1) 総合相談窓口「九女ルーム」の設置

社会に適応できる学生の育成を行うために、学生生活の相談やキャリアアドバイザーによる就職相談などを中心に学生が何でも相談できる窓口を設置し、学生生活や就職に対する不安を取り除きながら、学生が自己に適した職業を見出すことを支援する。

(2) 生活面のマナー指導強化

校友会(学生会)が中心となって「地区大学安心安全連絡協議会」の交通安全イベントを通じて社会貢献を実施し、地域社会において広くマナーアップを図りながら、学生自らも学内においての挨拶運動等を実施することによって、現代社会を生きる女性としての見識を学ぶ。

(3) 学生代表との定期的な意見交換システムの導入(キャンパスミーティング)

大学の活性化に対して学生が積極的に要望や意見を提出し大学運営に貢献できる機会を保证するために、学長を中心とする教職員と学生代表により組織するキャンパスミーティング(意見交換会)を開催する。また、学生自治会組織の活性化を目的としたリーダーズ研修も実施する。

(4) 教育現場でのボランティア活動

学生の就職先と考えられる職業分野を中心にボランティア活動(自主実習)を行う機会を提供し、懸念される就職先でのミスマッチを未然に防ぐと共に、保育・教育現場等において地域に貢献する機会を保证する。

(5) 企業に対する人材アンケート調査・雇用主による卒業生の実績調査

社会に適応し得る人材育成ができていないかを検証するために、年間500社程度に対して雇用主による卒業生の実績調査を実施し、その結果をファカルティ・ディベロップメント推進委員会等で検証しながら、本学の教育支援体制に対して評価を行う。

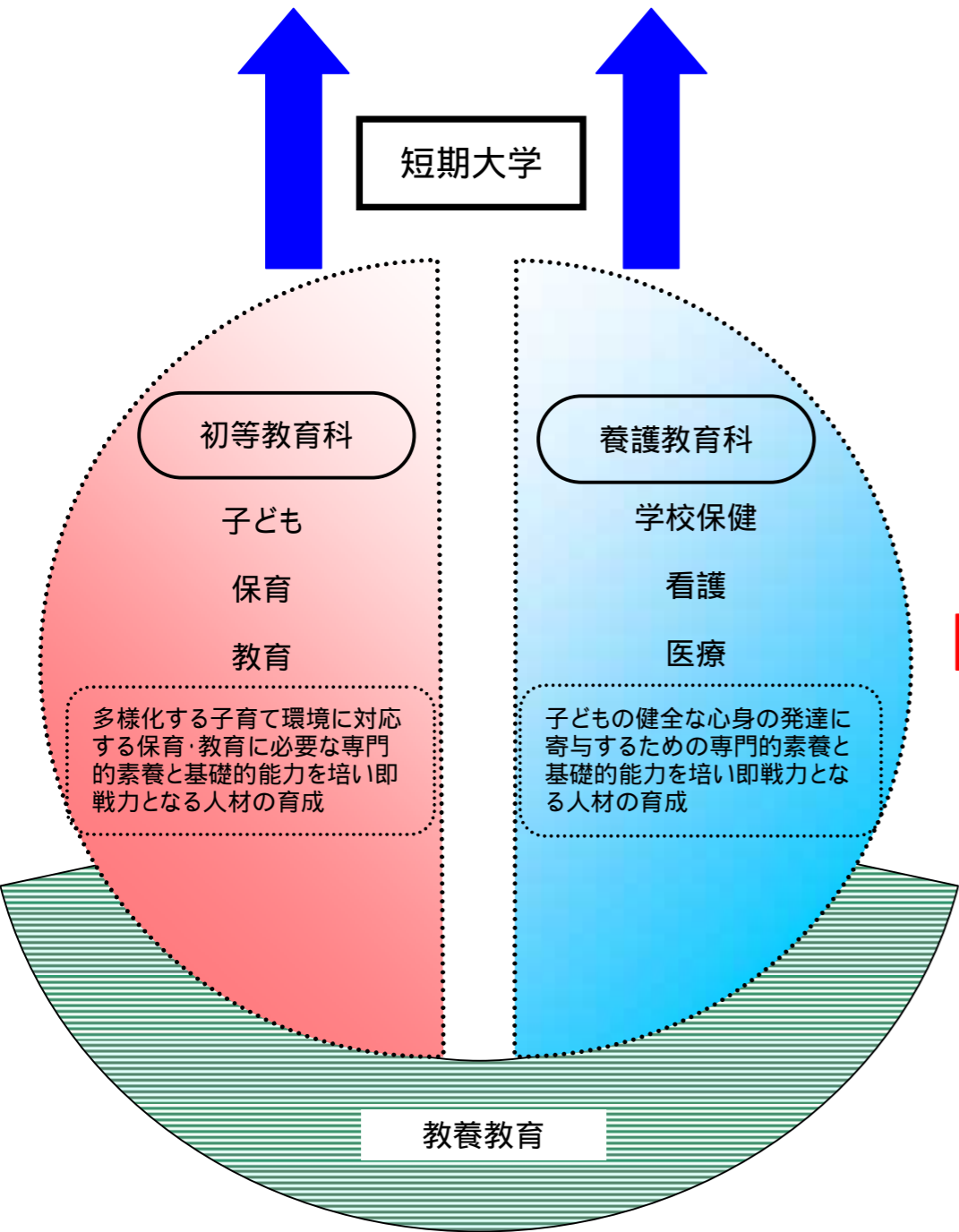
14.3. 適切な体制の整備について

本学科はアドバイザー制度を導入し、専任教員は1学年10名程度の学生に対して「キャリアデザイン」から「キャリアデザイン」までを科目担当者とともにアドバイザーとして関わり、学生支援課による求人関連等データならびに資料の提示や人的資源の提供を受けながら、教職員が一体となった継続的な指導を行う。

また、近年の短期大学生の動向に鑑み、保護者懇談会の充実等を通じて保護者との緊密な連絡のもとにキャリア形成支援を行う。

現短期大学教育理念図

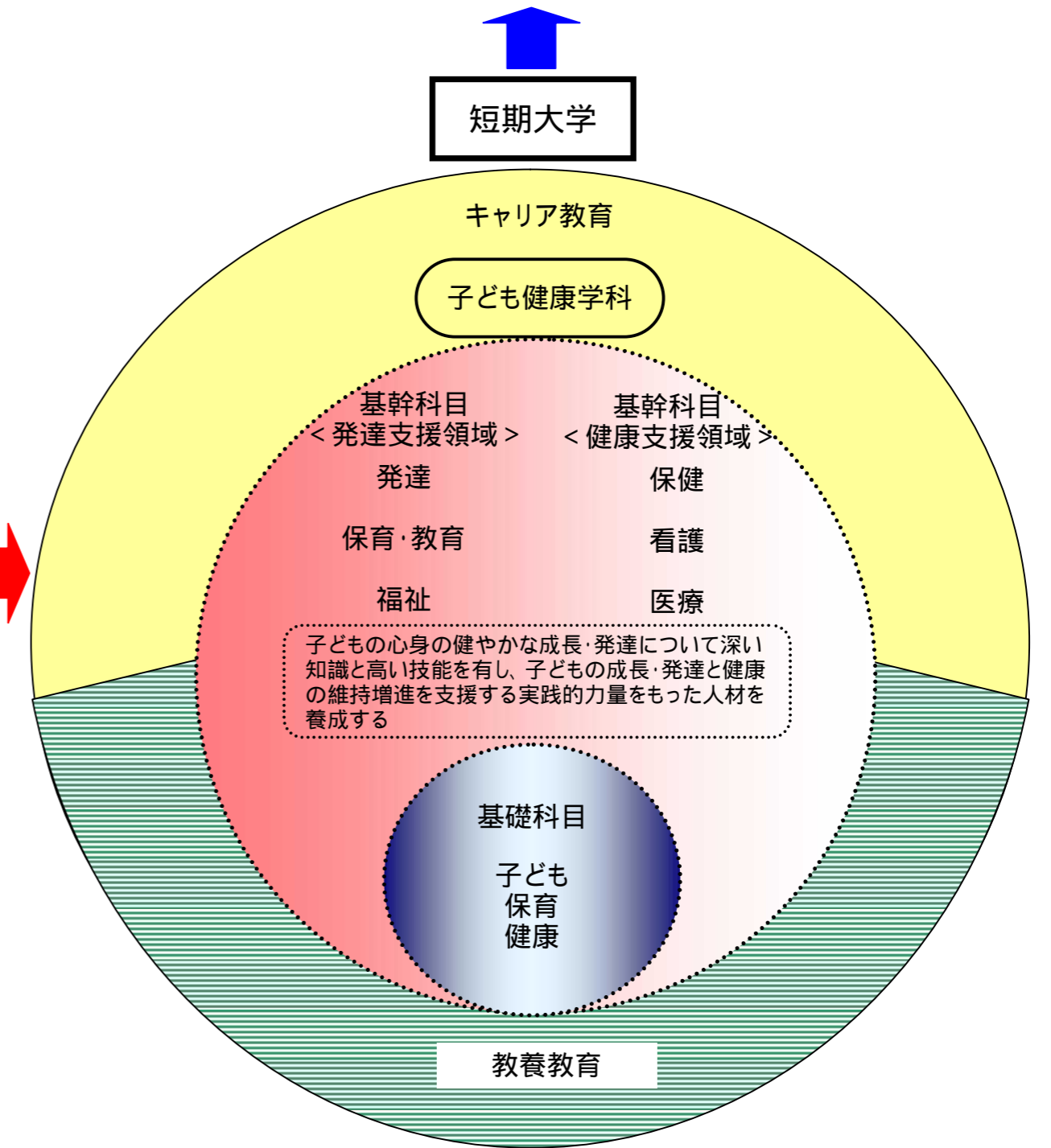
子どもの発達段階に柔軟に対応できる実践力を備えた人材を育成するとともに高い倫理観と豊かな教養を涵養し、地域社会の要請に沿った職業能力開発を行うことを教育研究上の目的とする



新短期大学教育理念図

乳幼児期から青年期に至る子どもの成長・発達の科学的理解およびその科学的理解に基づく心身の健やかな成長・発達を支援する専門的知識・技能について学び、確かな子ども理解と健康観に支えられた発達と健康維持・増進を支援する実践的力量を修得させることを教育研究上の目的とする

教育学・保育学分野の教育研究を強化する
「子ども」分野を中心に「子ども」「保育」「健康」3分野を基礎とする学修分野を柱とする
「発達支援領域」および「健康支援領域」を融合する



平成 2 1 年度 内定企業（業種別）

業種	企業名
運輸業	(株)アバン
運輸業	九州旅客鉄道(株)(JR九州)
製造業	(株)再春館製菓所
飲食業	(株)マリンポリス
飲食・宿泊業	(株)ホテルオークラ福岡
卸売・小売業	(株)ジェイエーシートレーディング
卸売・小売業	(株)レディスハトヤ
卸売・小売業	ハラダ調剤薬局
金融・保険業	(株)西日本シティ銀行
教育	(学)東福岡学園
教育	福岡県青少年科学館
教育	黒崎中央学童保育クラブ
教育	NPO法人 飯塚市青少年健全育成連絡協議会
教育	北九州市立かぐめよし少年自然の家
教育	対馬市立南陽小学校(臨採)
教育	別府市立朝日中学校(臨採)
教育	北九州市立北方小学校(臨採)
教育	北九州市立八幡小学校(臨採)
教育	北九州市立小倉中央小学校(臨採)
教育	北九州市立長行小学校(臨採)
教育	飯塚市立内野小学校(臨採)
医療	(医)社団 博文会
医療	(医)広石眼科医院
医療	(医)たにはた整形外科
医療	(医)隆誠会 延岡保養園
医療	(医)仁水会 出水歯科医院
医療	(医)順風会 じょう歯科診療所
医療	今里歯科医院
医療	かんざき歯科医院
医療	町立芦屋中央病院
医療	たけ歯科こども歯科
医療	もとまつ歯科クリニック
医療	セントマザー産婦人科医院
医療	トキハわさだタウン歯科クリニック
福祉	(社)慈愛会
福祉	西日本至福会
福祉	行橋みらい学園
保育園	堅粕保育園
保育園	船木保育園
保育園	天使育児園
保育園	旭ヶ丘保育園
保育園	八千代保育園
保育園	童の城保育園
保育園	ちびっこ保育所

業種	企業名
保育園	那珂の森保育園
保育園	春日中央保育園
保育園	(社)田布施保育園
保育園	(社)新生第一保育園
保育園	(社)若葉会 明野保育園
保育園	(社)新星会 双葉保育園
保育園	(社)覚応会 光和保育園
保育園	(社)厚德会 大日保育園
保育園	(社)百道会 ふたば保育園
保育園	(社)百道会 ふたば保育園
保育園	(社)なおみ会 第一保育園
保育園	(社)宝寿会 本城西保育園
保育園	(社)恵峰会 りんどう保育園
保育園	(社)感田福祉会 感田保育園
保育園	(社)防府慈光会 錦江保育園
保育園	(社)防府慈光会 錦江保育園
保育園	(社)明星福祉会 深坂保育園
保育園	(社)住吉福祉会 島之内保育園
保育園	(社)おんがの会 おんがの保育園
保育園	(社)童心福祉会 比良/さつき保育園
保育園	(社)清香会 横浜りとりばんぶきんず
保育園	(社)小倉新栄会 新栄ひまわり保育園
幼稚園	松寿幼稚園
幼稚園	(学)麻生学園
幼稚園	(学)原幼稚園
幼稚園	(学)行学学園
幼稚園	岡垣第一幼稚園
幼稚園	(学)福岡幼児学園
幼稚園	八幡みなみ幼稚園
幼稚園	(学)清光学園 宝幼稚園
幼稚園	(学)石田学園 山王幼稚園
幼稚園	(学)小石学園 小石幼稚園
幼稚園	(学)高見学園 高見幼稚園
幼稚園	(学)谷川学園 こみね幼稚園
幼稚園	(学)末益学園 こじか幼稚園
幼稚園	(学)有浦学園 さつき幼稚園
幼稚園	(学)松栄学園 はらきた幼稚園
幼稚園	(学)济世学園 济世第二幼稚園
幼稚園	(学)福原愛郷学園 鞍手幼稚園
幼稚園	(学)福岡自然学園 さつき幼稚園
幼稚園	(学)福岡自然学園 さつき幼稚園
幼稚園	(学)水巻学園 水巻・水巻中央幼稚園
幼稚園	(学)淡窓学園 筑紫野・筑紫野中央幼稚園

囲み数字は人数を示す。

過去5年間 九州女子短期大学 志願者数・入学者数

	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
養護教育科	124	79	136	82	94	52	101	64	98	60
初等教育科	186	99	158	83	114	75	110	70	119	97
合 計	310	178	294	165	208	127	211	134	217	157

九州女子短期大学 キャリアデザイン ～ の概要

キャリアデザイン	キャリアデザイン	キャリアデザイン	キャリアデザイン																
<p>概要・目的 「キャリアデザイン」とは、自分が置かれている現状把握と問題意識を高め、生きていくうえでどんな事に重点を置き、自分らしく生活していくべきかを計画することです。自分にとって何が望ましくふさわしいことであるかを真剣に考えながら、自分自身の人生設計を構築したうえで、「キャリアデザイン」を意識した学生生活を送れるよう、本学独自のカリキュラムに則ったキャリアデザインの基礎を習得することを目的にします。</p>	<p>概要・目的 ここでは、キャリアデザイン で把握した自分の現状を元に、自分の将来を意識しながら各人のロジックツリーを埋めていくことで弱点を補います。コース別に受講することで基礎能力をつけ、最終目標である卒業後の進路に向かって学ぶ意識を更に強化します。</p>	<p>概要・目的 キャリアデザイン では、 で学んだことを基礎として、あなたが「働く」ということに対する意識づけを実践していきます。また、自分自身の働く環境を充実させるために“やりがいを感じるような仕事に対する取り組み”や、“良き仕事仲間”を得るために、自分自身をどうしていくかを意識しながら学生生活を送っていくことを目的とします。</p>	<p>概要・目的 キャリアデザイン では、本格的に社会に出て行く準備として社会人として必要なマナーの基礎を徹底的に学びます。マナーは姿、型を美しくするだけではなく、心の豊かさや心の美しさを意識することを目的にします。</p>																
<p>オリエンテーション(1泊2日宿泊研修)</p> <p>キャリアデザインとは？</p> <p>就職の意味とは？女性の生き方</p> <p>キャリアデザインを形成するには・・・</p> <p>キャリアモデル1(保育士・幼稚園教諭)</p> <p>キャリアモデル2(養護教諭・医療関係)</p> <p>キャリアモデル3(一般企業、他)</p> <p>文章を読む(文章の組立や表現を理解する)</p> <p>文章を書いてみよう！(人に伝える文章力をつける)</p> <p>適職・適性検査</p> <p>自己のキャリアデザインを描く</p> <p>結果を診断しよう。</p> <p>電話のかけ方、敬語の使い方、話し方</p> <p>コース決定</p> <p>就職状況の理解・卒業時必要単位数の理解・夏休みの過ごし方(就職見学ツアー 職業体験的なもの)</p>	<p><コースガイダンス></p> <p>コースの最終決定</p> <p>一般教養を身につけよう。</p> <p>スーツの着こなし・社会人メイク</p> <table border="1" data-bbox="905 800 1484 1304"> <thead> <tr> <th>保育士・幼稚園コース</th> <th>養護教諭 コース</th> <th>医療コース</th> <th>一般企業コース</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子ども音楽(手遊び・ピアノ演奏・所見演奏) 造形(折り紙・ハネシスター) 読み聞かせ(絵本の読み聞かせ) 保育園・幼稚園の先生になるために・・・ 幼稚園・保育園だっって一企業！ 折り紙の折り方 本の読み聞かせ 特技をつくらう 造形 保育園・幼稚園説明会</td> <td>教員採用試験に向けて、OGの話などを聴く機会をもって モチベーションを維持させる対策講座の実施 対策講座では教員採用試験の模擬テストも盛り込む キャリアフォーメーションプログラム(公開授業)の実施 他校の授業研修・卒後研修会の参加など</td> <td>病院だっって一企業！ 医療事務を目指す 介護士を目指す 医療に関する職種</td> <td>一般企業とは？ 一般常識 適性 SPI グループワーク グループディスカッション 集団面接 エントリーシート 新聞の読み方 経営者が求めるもの(利益重視の考え方) 短大生のロジック</td> </tr> </tbody> </table> <p>内定報告会・コース別春休みの過ごし方</p>	保育士・幼稚園コース	養護教諭 コース	医療コース	一般企業コース	子ども音楽(手遊び・ピアノ演奏・所見演奏) 造形(折り紙・ハネシスター) 読み聞かせ(絵本の読み聞かせ) 保育園・幼稚園の先生になるために・・・ 幼稚園・保育園だっって一企業！ 折り紙の折り方 本の読み聞かせ 特技をつくらう 造形 保育園・幼稚園説明会	教員採用試験に向けて、OGの話などを聴く機会をもって モチベーションを維持させる対策講座の実施 対策講座では教員採用試験の模擬テストも盛り込む キャリアフォーメーションプログラム(公開授業)の実施 他校の授業研修・卒後研修会の参加など	病院だっって一企業！ 医療事務を目指す 介護士を目指す 医療に関する職種	一般企業とは？ 一般常識 適性 SPI グループワーク グループディスカッション 集団面接 エントリーシート 新聞の読み方 経営者が求めるもの(利益重視の考え方) 短大生のロジック	<p><コースガイダンス></p> <p>コースの確認</p> <p>正社員とフリーター(給与面、税金面から) 社会人の支払義務・結婚後にそれがどう変化するか。</p> <table border="1" data-bbox="1549 789 2101 1289"> <thead> <tr> <th>保育士・幼稚園コース</th> <th>養護教諭 コース</th> <th>医療コース</th> <th>一般企業コース</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実技試験対策(音楽・小論文・絵本の読み聞かせ・手遊び・一般常識) 読書理解力・言葉表現力・文章表現力の強化 子育てセンターなどへの実習 幼稚園園長、保育園園長、児童福祉施設長などの話を聴く</td> <td>直前対策講座(過去・予想問題テスト)4回開催 編入学及び進学対策(英語などの弱点強化)</td> <td>レセプトの演習</td> <td>マンツーマン受験対応</td> </tr> </tbody> </table> <p>4コースの仕上げ 求人の見方(福利厚生、業種・業界など) 自己分析・他己分析、大学規定の履歴書の書き方 グループ面接・グループワーク・グループディスカッション 個人面接の仕方と実践及びグループワーク発表</p> <p>2年の夏を乗り切る！(2年の夏の乗り切り方)</p>	保育士・幼稚園コース	養護教諭 コース	医療コース	一般企業コース	実技試験対策(音楽・小論文・絵本の読み聞かせ・手遊び・一般常識) 読書理解力・言葉表現力・文章表現力の強化 子育てセンターなどへの実習 幼稚園園長、保育園園長、児童福祉施設長などの話を聴く	直前対策講座(過去・予想問題テスト)4回開催 編入学及び進学対策(英語などの弱点強化)	レセプトの演習	マンツーマン受験対応	<p><コースガイダンス></p> <p>マナーと品格・マナーの基本</p> <p>人間関係を構築する</p> <p>ノンバーバルコミュニケーション</p> <p>国際マナープロトコール</p> <p>好印象を与える会話の作法</p> <p>ビジネスシーンの上下関係</p> <p>社会人に必要なビジネススキル</p> <p>対人関係のマナー</p> <p>外見のマネジメント</p> <p>冠婚葬祭のマナー</p> <p>日本の礼儀作法・日本のしきたり</p> <p>マナーとビジネスキャリア</p> <p>結婚式やお葬式のマナー</p> <p>フォーマルなテーブルマナー</p> <p>マナープロトコール検定試験(3級)</p> <p>1クラス30名×5クラス(理想)</p>
保育士・幼稚園コース	養護教諭 コース	医療コース	一般企業コース																
子ども音楽(手遊び・ピアノ演奏・所見演奏) 造形(折り紙・ハネシスター) 読み聞かせ(絵本の読み聞かせ) 保育園・幼稚園の先生になるために・・・ 幼稚園・保育園だっって一企業！ 折り紙の折り方 本の読み聞かせ 特技をつくらう 造形 保育園・幼稚園説明会	教員採用試験に向けて、OGの話などを聴く機会をもって モチベーションを維持させる対策講座の実施 対策講座では教員採用試験の模擬テストも盛り込む キャリアフォーメーションプログラム(公開授業)の実施 他校の授業研修・卒後研修会の参加など	病院だっって一企業！ 医療事務を目指す 介護士を目指す 医療に関する職種	一般企業とは？ 一般常識 適性 SPI グループワーク グループディスカッション 集団面接 エントリーシート 新聞の読み方 経営者が求めるもの(利益重視の考え方) 短大生のロジック																
保育士・幼稚園コース	養護教諭 コース	医療コース	一般企業コース																
実技試験対策(音楽・小論文・絵本の読み聞かせ・手遊び・一般常識) 読書理解力・言葉表現力・文章表現力の強化 子育てセンターなどへの実習 幼稚園園長、保育園園長、児童福祉施設長などの話を聴く	直前対策講座(過去・予想問題テスト)4回開催 編入学及び進学対策(英語などの弱点強化)	レセプトの演習	マンツーマン受験対応																
<p>効果 自己の理想とする未来像に向けて努力する。 2年間の学習効果を基盤にし、社会人としての自覚を創造する。 キャリアデザインの意義を理解させることで、個々の学生の“働く価値観”を明確にし、目的に向かって努力する力を育てながら2年間という短い時間で社会人としての自覚を促す。 自己の職業選択に向けた将来設計と実現のための具体的な目標決定。</p>	<p>効果 自分らしいよりよい生き方について考えることが出来る。 社会との関わり方を考えながら学生自身が適性と適職を見つけ出し、その能力を最大限に発揮できるようになる。 教育者及び社会人としての深い知識と技能を有した人材育成。 自己選択による自己実現の具体化 職業適性診断による自己分析と進路先決定 自己の可能性に向けての段階的な取り組み</p>	<p>効果 職業人として社会に貢献できる人材を育成する。 就職現場のニーズを分かりやすく提示し、個人の将来に対する希望や夢に向けて目的と理想を実現するための確実な自己設定を行う。 現場研修 各機関での実習により、社会人としての知識や技能を実践し、現場に即した人間形成を行う。 即戦力になる人材とは何か、学生自身が体験を通して学ぶ。 自己の可能性を最大限に発揮し、自己アピールができる個人開発を行う。</p>	<p>効果 地域社会の活性化に貢献できる人材を育成する。 マナーの資格取得。 自己実現から、残された半年の有効活用。 しなやかに実践力を持った働く女性として、マナースキルアップに努める。 取得できる資格の習得と、自己実現に向けてのラストスパート。 これからの自分設計を考え、卒業後の自己をイメージする。</p>																
<p>実習関係</p>	<p>児童養護施設と保育園実習 1年後期の2月～3月</p>	<p>2年前期7月～8月保育園実習、10月幼稚園実習 5、6月或いは9月養護教諭実習(3週間) 8月病院実習(1週間)</p>	<p>11月老健等施設実習</p>																
<p>保護者支援</p> <p>保護者会・・・保護者のための就職支援 適職・適性検査結果を保護者へ報告 コース決定報告</p>	<p>保護者面談会(三者面談) コースの最終決定報告 コース別の成果報告</p>	<p>保護者会 面談会(三者面談) 就職希望最終決定</p>	<p>保護者会・・・就職決定状況 内定状況の確認と報告 マナープロトコール検定試験(3級)の結果通知</p>																

子ども健康学科 履修モデル

【発達支援領域】

科目区分		1年前期		1年後期		2年前期		2年後期		単位合計		卒業要件単位数		
教養教育科目	第1群 人文・社会・芸術	日本国憲法	2							2単位	13単位	2単位以上	11単位 以上	62単位 以上
	第2群 健康・自然	生涯スポーツ	1	健康の科学	2					3単位		3単位以上		
	第3欄 外国語・情報	英語 情報処理	1 2	英語	1					4単位		2単位以上		
	第4群 キャリア支援	キャリアデザイン	1	キャリアデザイン	1	キャリアデザイン	1	キャリアデザイン	1	4単位		4単位		
専門教育科目	基礎科目	子ども学 乳児保育 保育原理	2 2 2	精神保健 発達心理学 小児保健	2 2 2					12単位	49単位	8単位以上	28単位 以上	62単位 以上
	基幹科目 (発達支援領域)	教育課程・保育計画総論 保育内容総論	2 2	図画工作 保育内容(表現) 養護原理	2 2 2	保育内容(人間関係) 保育内容(環境) 保育内容(言葉) 保育実習・事前事後指導 保育臨地実習	2 2 2 1 1	保育所実習 施設実習	2 2	22単位		主たる領域 から 20単位以上		
	基幹科目 (健康支援領域)	小児栄養	2	体育	2	小児保健 小児保健実習 保育内容(健康)	2 1 2	保育相談(カウンセリングを含む。)	2	11単位				
	教職関連科目	教育原論(幼稚園)	2	教育心理学(幼稚園)	2					4単位				
合計		21単位		20単位		14単位		7単位		62単位		62単位以上		

子ども健康学科 履修モデル

【健康支援領域】

科目区分		1年前期		1年後期		2年前期		2年後期		単位合計		卒業要件単位数		
教養教育科目	第1群 人文・社会・芸術			日本国憲法	2					2単位	13単位	2単位以上	11単位以上	62単位以上
	第2群 健康・自然	生涯スポーツ	1	健康の科学	2					3単位		3単位以上		
	第3欄 外国語・情報	英語 情報処理	1 2	英語	1					4単位		2単位以上		
	第4群 キャリア支援	キャリアデザイン	1	キャリアデザイン	1	キャリアデザイン	1	キャリアデザイン	1	4単位		4単位		
専門教育科目	基礎科目	子ども学 乳児保育 児童福祉 看護学	2 2 2 2	精神保健	2	救急処置	2			12単位	49単位	8単位以上	28単位以上	62単位以上
	基幹科目 (発達支援領域)	保育内容総論	2	養護原理	2	養護内容	2	障害児保育	2	8単位		主たる領域 から 20単位以上		
	基幹科目 (健康支援領域)	学校保健 養護概説 衛生学	2 2 2	微生物学(免疫学を含む。) 薬理学 看護学実習	2 2 1	ヘルスカウンセリング 看護学 看護学実習 栄養学(食品学を含む。) 臨床医学	2 2 1 2 2	臨床実習 臨床実習 保育相談論(カウンセリングを含む。)	2 1 2	25単位				
	教職関連科目	教育原論(養護教諭)	2	教育心理学(養護教諭)	2					4単位				
合計		23単位		17単位		14単位		8単位		62単位		62単位以上		

短期大学全体講義室一覽

番号	建物名称	階数 (階)	部屋番号	教室等区分	収容人員 (人)
1	本館	2	A 2 2 3	講義室	40
2	本館	2	A 2 2 4	講義室	40
3	桃園館	2	B 2 0 4	講義室	81
4	桃園館	3	B 3 0 1	講義室	180
5	桃園館	3	B 3 0 2	講義室	81
6	桃園館	3	B 3 0 4	講義室	81
7	新館	2	C 2 1 5	講義室	170
8	新館	3	C 3 1 6	講義室	72
9	新館	3	C 3 1 7	講義室	72
10	新館	3	C 3 1 8	講義室	81
11	新館	4	C 4 1 1	講義室	137
12	新館	4	C 4 1 2	講義室	130
13	栄養学館	5	D 5 5 2	講義室	312
14	特別研究棟	2	G 2 7 2	講義室	30
15	思静館	2	F 2 4 2	講義室	48
16	思静館	3	F 3 4 4	講義室	82
17	思静館	4	F 4 4 1	講義室	224
18	思静館	4	F 4 4 2	講義室	224
19	思静館	5	F 5 4 1	講義室	450
20	耕学館	1	E 1 0 1	講義室	156
21	耕学館	1	E 1 0 2	講義室	156
22	耕学館	1	E 1 0 3	講義室	119
23	耕学館	1	E 1 0 4	講義室	119
24	耕学館	1	E 1 0 5	講義室	119
25	耕学館	1	E 1 0 6	講義室	59
26	耕学館	1	E 1 0 7	講義室	59
27	耕学館	1	E 1 0 8	講義室	59
28	耕学館	1	E 1 0 9	講義室	59
29	耕学館	2	E 2 0 1	講義室	276
30	耕学館	2	E 2 0 5	講義室	119
31	耕学館	2	E 2 0 6	講義室	119
32	耕学館	2	E 2 1 0	講義室	59
33	耕学館	3	E 3 0 4	講義室	59
34	耕学館	3	E 3 0 5	講義室	59
35	耕学館	3	E 3 0 6	講義室	59

講義室合計	35室
-------	-----

短期大学全体演習室一覽

番号	建物名称	階数 (階)	部屋番号	教室等区分	収容人員 (人)
1	本館	2	A 2 2 2	演習室	40
2	本館	3	A 3 0 4	演習室	4
3	本館	3	A 3 3 4	演習室	24
4	本館	4	A 4 2 2	演習室	142
5	本館	4	A 4 2 4	演習室	11
6	本館	4	A 4 2 6	演習室	3
7	本館	4	奏楽室A	演習室	63
8	本館	4	奏楽室B	演習室	78
9	新館	3	C 3 0 1	演習室	4
10	新館	3	C 3 1 1	演習室	64
11	新館	3	C 3 1 2	演習室	65
12	新館	3	C 3 1 4	演習室	4
13	耕学館	1	E 1 1 0	演習室	36
14	耕学館	1	E 1 1 1	演習室	54
15	耕学館	1	E 1 1 2	演習室	24
16	耕学館	1	E 1 1 3	演習室	24
17	耕学館	1	E 1 1 4	演習室	24
18	耕学館	1	E 1 1 5	演習室	24
19	耕学館	1	E 1 1 6	演習室	24
20	耕学館	2	E 2 0 2	演習室	62
21	耕学館	2	E 2 0 3	演習室	60
22	耕学館	2	E 2 0 4	演習室	60
23	耕学館	2	L L 機器室	演習室	5
24	耕学館	2	E 2 0 7	演習室	40
25	耕学館	2	E 2 0 8	演習室	40
26	耕学館	2	E 2 0 9	演習室	30
27	耕学館	3	E 3 0 1	演習室	143
28	耕学館	3	E 3 0 2	演習室	143
29	思静館	3	F 3 4 5	演習室	66
30	思静館	3	F 3 4 6	演習室	18
31	特別研究棟	2	G 2 7 3	演習室	8
32	特別研究棟	2	G 2 7 4	演習室	20
33	特別研究棟	3	G 3 7 2	演習室	20
34	特別研究棟	3	G 3 7 3	演習室	20
35	特別研究棟	3	G 3 7 6	演習室	20

演習室合計 35室

平成24年度 前期 授業時間割 (案)

九州女子短期大学 子ども健康学科

ABクラス：発達支援領域
CDクラス：健康支援領域

学年	クラス	月						火						水					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50
1年	A	文章力をつける (若松) F441	英語 (矢野紀) E105	乳児保育 (堀) F345	子ども学 (矢野洋) F442		介護等体験 (渡邊・富永・堀) F344	児童福祉 (矢野洋) F441	看護学 (筒井) B301	音楽(器楽) (津山) レッスン室	小児栄養 (小林) F344 C112	生涯学習と社会教育 (大島) F441		情報処理 (藤淵) E202	幼児体育 (松崎) 咸宜苑	教職概論(幼稚園) (大庭) F441	教育原論(幼稚園) (大庭) F441	キャリアデザイン (全員) F541 他	
	B		乳児保育 (堀) F345	英語 (矢野紀) E105						小児栄養 (小林) F344 C112	音楽(器楽) (津山) レッスン室		幼児体育 (松崎) 咸宜苑	情報処理 (藤淵) E202					
	C	芸術を楽しむ (津山) 奏楽室A	英語 (リチャーズ) C311	養護概説 (山脇) B102 B306	乳児保育 (堀) B302	子ども学 (矢野洋) F442					児童福祉 (矢野洋) F441	環境と人間 (嵐谷) E107			教育原論 (養護教諭) (大庭) B301	情報処理 (増田) H204	生理・解剖学 (松本) B204		
	D		養護概説 (山脇) B102 B306	英語 (リチャーズ) C311												生理・解剖学 (松本) B204	情報処理 (増田) H204		
2年	A	教育方法・技術論 (藤淵) F344		社会福祉原論 (矢野洋) F441	救急処置 (蒲池) B301	事前事後指導 (幼稚園) (渡邊・富永・堀) F344		保育実習・事前事後指導 (渡邊・富永・松崎) F442	保育内容 (人間関係) (矢野洋) F541	保育内容(環境) (平山) F141	小児保健実習 (筒井・蒲池) F241					保育内容(健康) (松崎) F442	保育内容(言葉) (堀) F141		
	B		教育方法・技術論 (藤淵) F344					保育内容(環境) (平山) F141	保育内容 (人間関係) (矢野洋) F541		小児保健実習 (筒井・蒲池) F241					保育内容(言葉) (堀) F141	保育内容(健康) (松崎) F442		
	C		社会福祉原論 (矢野洋) B302	救急処置 (筒井) B301		事前事後指導 (養護教諭) (大庭・山脇) B102 B306 C411			ヘルソカレリク (山脇) B102 B306	薬理学 (松本) B204				看護学 (蒲池) B301	教育課程論 (園田) B302	養護学実習 (筒井・蒲池・西村) F241・F242			
	D				事前事後指導 (養護教諭) (大庭・山脇) B102 B306 C411				ヘルソカレリク (山脇) B102 B306	薬理学 (松本) B204						養護学実習 (筒井・蒲池・西村) F241・F242		養護学実習 (筒井・蒲池・西村) F241・F242	

平成24年度 前期 授業時間割 (案)

九州女子短期大学 子ども健康学科

ABクラス：発達支援領域
CDクラス：健康支援領域

【注意】

1. 点線は選択授業
2. 教室名の前に、館名を表すアルファベットを表示して、教室名を表します。
(例) A 2 2 2

館名 階
 本 館 …… A
 桃 園 館 …… B
 新 館 …… C
 栄養学館 …… D
 耕 学 館 …… E
 思 静 館 …… F
 耕 心 館 …… H

学年	クラス	木						金						集中講義
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
		9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	
1年	A	教育課程・保育計画総論 (渡邊) F441	保育内容総論 (渡邊) F442	暮らしと経済 (中村良) E102				生涯スポーツ (松崎) (相原) (八板) 錬成館他	音楽(器楽) (津山) (石野) (皿本) (古野) レッスン室	音楽(器楽) (石野) (占部幸) (古野) (原田) レッスン室	保育原理 (渡邊) F441			
	B													
	C	健康の科学 (松崎・加知) (堀・相原) B301	日本国憲法 (中野敏) E101		衛生学 (嵐谷) B301				学校保健 (山脇) B102 B306	教職概論 (養護教諭) (園田) B301				
	D													
2年	A				養護内容 (河原) F441						小児保健 (蒲池) F441	キャリアデザイン (全員) F541 他	保育臨地実習 (渡邊・富永・松崎)	
	B			養護内容 (河原) F441										
	C	教科外教育の研究 (大庭) B302	栄養学 (食品学を含む。) (石橋) E102	公衆衛生学 (予防医学を含む。) (嵐谷) B301	臨床医学 (桂木) B302			教育相談論 (小沢) B302		医療・社会保障論 (神谷) B302				
	D							教育相談論 (小沢) B302						

平成24年度 後期 授業時間割 (案)

九州女子短期大学 子ども健康学科

ABクラス：発達支援領域
CDクラス：健康支援領域

学年	クラス	月						火						水					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50
1年	A	文章力をつける (若松) F441	英語 (矢野紀) E105	音楽(器楽) (津山) レッスン室	日本国憲法 (鹿子生) E101	同和教育 (横山) E201	算数科教育概論 (藤淵) F345	体育 (松崎) 咸宜苑	保育原理 (渡邊) F441	歴史と文化 (若松) F541	精神保健 (加知) F441	健康の科学 (松崎・加知 堀・相原) F441	情報処理 (藤淵) E203	生活科教育概論 (小林) F141	図画工作 (富永) F144	教育心理学 (幼稚園) (小沢) F441			
	音楽(器楽) (津山) レッスン室		英語 (矢野紀) E105	教育心理学 (幼稚園) (小沢) F441	図画工作 (富永) F144														
	C	ジェンダーと社会 (木山) F442	英語 (リチャーズ) C311	学校保健実習 (山脇) B102 B306	教育心理学 (養護教諭) (加知) B302	発達心理学 (加知) B302	心の科学 (加知) F344	教育方法学 (大庭) B306	精神保健 (矢野洋) B301	学校保健 (山脇) B102 B306	情報処理 (増田) E202	薬理学 (松本) B204							
	D	教育心理学 (養護教諭) (加知) B302	英語 (リチャーズ) C311	学校保健実習 (山脇) B102 B306	薬理学 (松本) B204														
2年	A	家族援助論 (柳) F344	障害児保育 (矢野洋) F442	事前事後指導 (幼稚園) (渡邊・富永・堀) F345	保育実習・事 前事後指導 (渡邊・富永・松崎) F442	乳児保育 (堀) F344	児童福祉 (篠崎) F345	総合演習 (渡邊) F442 (津山) F345 (富永) F441	乳幼児心理学 (小沢) F345	教職実践演習 (幼稚園) (津山) F345 (富永) F441 (渡邊) F442									
	B										乳児保育 (堀) F344								
	C	ヘルスカンセリング演習 (山脇) B102	事前事後指導 (養護教諭) (大庭・山脇) B102 B306 C411	臨床実習 (筒井・蒲池) F241 F242	看護学 (蒲池) B302	教職実践演習 (養護教諭) (大庭) B302 (山脇) B304													
	D	事前事後指導 (養護教諭) (大庭・山脇) B102 B306 C411	臨床実習 (筒井・蒲池) F241 F242																

平成24年度 後期 授業時間割 (案)

九州女子短期大学 子ども健康学科

ABクラス：発達支援領域
CDクラス：健康支援領域

【注意】

1. 点線は選択授業
2. 教室名の前に、館名を表すアルファベットを表示して、教室名を表します。
(例) A 2 2 2

館名 階
本 館 …… A
桃 園 館 …… B
新 館 …… C
栄養学館 …… D
耕 学 館 …… E
思 静 館 …… F
耕 心 館 …… H

学年	クラス	木						金						集 中
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
		9:00～10:30	10:45～12:15	13:05～14:35	14:50～16:20	16:35～18:05	18:20～19:50	9:00～10:30	10:45～12:15	13:05～14:35	14:50～16:20	16:35～18:05	18:20～19:50	
1年	A	小児保健 (筒井) F441	教育行政学 (幼稚園) (山下顕) F442	音楽(器楽) (石野) (占部*) (皿本) レッスン室	音楽(声楽) (北村) A422	養護原理 (大黒) F441			発達心理学 (小沢) F345	国語科教育概論 (書写を含む。) (白瀬) F442	保育内容(表現) (津山・松崎・富永) 奏楽室A 他	キャリアデザイン (全員) F541 他	医療秘書学 (村田)	
	B			音楽(声楽) (北村) A422	音楽(器楽) (石野) (原田) (古野) レッスン室					保育内容(表現) (津山・松崎・富永) 奏楽室A 他	国語科教育概論 (書写を含む。) (白瀬) F442			
	C	微生物学 (免疫学を含む。) (久山) B301	教育行政学 (養護教諭) (山下顕) B302	看護学実習 (筒井・蒲池・西村) F241・F242	生涯スポーツ (松崎) (相原) (八板) 錬成館他	養護概説 (山脇) B102 B306				看護学実習 (筒井・蒲池・西村) F241・F242				
	D					看護学実習 (筒井・蒲池・西村) F241・F242				看護学実習 (筒井・蒲池・西村) F241・F242	養護概説 (山脇) B102 B306			
2年	A								キャリアデザイン (全員) F541 他	保育相談論 (カウンセリングを含む。) (加知) F441	社会福祉援助技術 (篠崎) F345	保育相談論 (小沢) F441	保育所実習 保育所実習 (渡邊・富永・松崎) 施設実習 施設実習 (矢野洋) 臨床実習 (筒井・蒲池) 診療報酬請求実務 (尾崎) 教育実習 (渡辺・富永・堀) 前期に実習がある者も必ず後期で 履修申告をすること。 教育実習 (渡辺・富永・堀) 前期に実習がある者も必ず後期で 履修申告をすること。 養護実習(大庭・山脇) 前期に実習がある者も必ず後期で 履修申告をすること。	
	B									社会福祉援助技術 (篠崎) F345	保育相談論 (カウンセリングを含む。) (小沢) F441			
	C			生徒・進路指導論 (小沢) B302	医療情報学 (神谷) B304									
	D													

平成24年度 前期 授業時間割 (案)

九州女子大学 家政学部 人間生活学科

学年	クラス	月						火						水						
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
		9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	
1年		フランス語 (山下高) E306	生涯スポーツ (相原) (松崎) (西山) (堀内) 錬成館他	基礎化学実験 (西田) B209・C317	キャリアデザイン (中井) 他(共通教育機構教員) B302・F541			<1年> 芸術を楽しむ <2年> 音楽を楽しむ (津山) F541	<1年次配当科目> 教職概論 (長濱) F441	日本国憲法 (鹿子生) E101	食品学 (西田) C412	<1年次配当科目> 被服学 (中井) C318	<留学生のみ> 日本事情 (方) E106	住居学 (製図を含む。) (岡俊) C211	被服材料学 (山野) C316	同和教育 (牛島) E101	日本語表現法 (文章) (若松) E101 (白瀬) E102	建築環境工学 (姜燕) C316		
		中国語 (陳) E107					文化人類学入門 (牛島) E110					心の科学 (井隼) E101								
		韓国語 (朴) E108						日本の文学 (櫻澤) E102	<1年> ジェンダーと社会 (人権を含む。)	統計学 (二摩) E208	家庭科教育法 (加藤) C316	<2年生のみ> 人権と社会 (塩見) E106	<留学生のみ> 生命科学 (屋代) E103	調理学実験 (滝澤) B108			文章力をつける (白瀬) E102	家族心理学 (太田あ) C318		
2年		<2年生のみ> ドイツ語 (渡辺) E106	フードスペシャリスト論 (西田) F442	情報処理演習 (岡本実) E203・C416	住居設計演習 (松永) C211			<2年次配当科目> 日本の文学 (櫻澤) E102				<2年生のみ> 人権と社会 (塩見) E106								
		<2年次配当科目> 建築材料学 (小山) C316					<2年次配当科目> 教育課程論 (園田) E104	<1年> ジェンダーと社会 (高木里) E103				<2年次配当科目> 食品流通・消費論 (謝) D552								
3年		情報処理演習 (岡本実) E203・C416	建築材料・施工学 (小山) C316	社会調査法演習 (向井) E208	生活福祉論 (立松) C316	道德教育の研究 (大庭) B301		調理学実習 (加藤) B108		染色加工学実験 (山野) B002・I204		生活設計論 (岡俊) C211	介護等体験 (古城) E102	生活環境学 (西田) C316	食品衛生学 (西田) C318	住居管理学 (岡俊) C211	CAD・CG概論 (岡本実) C416・E203	教育法規 (川野) F344		
														被服整理学 (中井) C318						
4年			フードスペシャリスト論 (西田) F442					福祉施設計画 (松永) C211	食品流通・消費論 (謝) D552	福祉施設設計演習 (松永) C211			卒業研究 (岡俊) (中井) (松永) (岡本実) (加藤) (立松) (西田) 各研究室		生活情報論 (岡本実) C416		食品の官能評価・鑑別論 (米田) E105	フードコーディネーター論 (廣田幸) E104	人間生活学演習 (岡俊) (中井) (松永) (岡本実) (加藤) (立松) (西田) 各研究室	

平成24年度 前期 授業時間割 (案)

九州女子大学 家政学部 人間生活学科

【注意】

1. 点線は選択授業
2. 教室名の前に、館名を表すアルファベットを表示して、教室名を表します。
(例) A 2 2 2

館名 階
 本 館 …… A
 桃 園 館 …… B
 新 館 …… C
 栄養学館 …… D
 耕 学 館 …… E
 思 静 館 …… F
 耕 心 館 …… H

学年	クラス	木						金						集中講義
		1 9:00~10:30	2 10:45~12:15	3 13:05~14:35	4 14:50~16:20	5 16:35~18:05	6 18:20~19:50	1 9:00~10:30	2 10:45~12:15	3 13:05~14:35	4 14:50~16:20	5 16:35~18:05	6 18:20~19:50	
1 年			英語 (グーラル) E210	色彩学 (床田) E106	法と生活 (中野昌) E205			情報処理 (岡本実) E203	基礎化学 (水崎) C318	生活学概論 (立松・岡俊・中井) C318	健康の科学 (濱寄) E101	家族と生活福祉 (立松) C318		
					暮らしと経済 (中村良) E201									
2 年		英語 (十時) E111	食品加工学 (堀) C318	建築法規 (下畑) C316		建築一般構造学 (姜優) C316		被服構成学 (山野) C318	生活経済学 (萱沼) C316	住居計画 (松永) C211	教育方法学 (園田) E102	家庭電気・機械 (岡本実) E203 C416	ボランティア活動(木山) <small>履修登録上は必ず後期で申告をすること。</small>	
				<2年生のみ> 美術の世界 (床田) E101									インターシップ・プログラム(藤淵) <small>履修登録上は必ず後期で申告をすること。</small>	
3 年		保育学 (実習及び家庭看護を含む。) (柳) F344		食品加工学実習 (堀) B108	建築設備学 (龍) C318	人間生活学演習 (岡俊) (中井) (松永) (岡本実) (加藤) (立松) (西田) 各研究室	繊維製品試験 (中井) I104		被服構成学実習 (山野) C217 C218		家庭科教育法 (加藤) B204		インターシップ・プログラム(藤淵) <small>履修登録上は必ず後期で申告をすること。</small>	
4 年		消費科学 (立松) C318						生活設計演習 (岡俊) C212	ファッション商品論 (池永) C317		事前事後指導 (福石) E201	キャリアガイダンス	卒業研究 (岡俊) (中井) (松永) (岡本実) (加藤) (立松) (西田)	

平成24年度 後期 授業時間割 (案)

九州女子大学 家政学部 人間生活学科

学年	クラス	月						火						水					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50
1年		フランス語 (山下高) E306	調理学 (加藤) C316	食品学実験 (西田) B209・C317	キャリアデザイン (中井) 他(共通教育機構教員) B302・F541			情報文化論 (鄭) E201	<1年次配当科目> 教育原論 (福石) E102	家族関係学 (立松) C316			<1年> 国際問題と政治 <2年> 国際問題の焦点 (鹿子生) E106 <1年生のみ> 文学表現と書道 (河原木・大迫正) E303	<留学生のみ> 日本事情 (方) E106	繊維製品試験 (中井) I104	教育心理学 (奈田) E102		建築構造力学 (姜暉) C316	
		中国語 (陳) E107						世界の文学 (馬場) E205											
		韓国語 (朴) E108						宇宙の科学 (二摩) E101	生活と文化 (牛島) E104										
2年		<2年生のみ> ドイツ語 (渡辺) E106	情報処理演習 (岡本実) E203・C416	住居設計演習 (松永) C211	福祉施設計画 (松永) C211		<2年生のみ> 科学と人間 (濱崎) E103	社会学入門 (高木里) E101	インテリア計画 (岡俊) C211	家庭科教育法 (岡・立松・山野) C211・C110 C217・C218	健康と栄養 (屋代・米田) E101			調理学実習 (加藤) B108	生活経営学 (高橋久) C318	人間関係論 (三上) E102	<教職課程履修者のみ> 総合演習 (菊地) H204 (田崎) E306 (村上) E304 (長濱) C215 (細井) E107		
		<2年次配当科目> 建築施工学 (小山) C316					<2年次配当科目> 教育行政学 (福石) E102	<2年生のみ> 世界の近現代史 (寺田) E109				<留学生のみ> 日本語講座 (沙) E111							
		家庭科教育法 (加藤) B204	栄養学 (西田) C318	生活工学実験 (岡本実) C415・C416	教育相談論 (堀江) E102	介護等体験 (古城) E201	調理学実習 (加藤) B108	被服整理学実験 (中井) B002	特別活動の研究 (中村ま) E206					インテリアメント製作実習 (山野) C217・C218・I204	建築材料・環境実験 (小山田・豊増・龍) C211 C211	情報処理演習 (岡本実) E203 C416			
3年																			
4年																			
												卒業研究 (岡俊) (中井) (松永) (岡本実) (加藤) (立松) (西田) 各研究室							

平成24年度 後期 授業時間割 (案)

九州女子大学 家政学部 人間生活学科

【注意】

1. 点線は選択授業
2. 教室名の前に、館名を表すアルファベットを表示して、教室名を表します。
(例) A 2 2 2

館名 階
 本 館 …… A
 桃 園 館 …… B
 新 館 …… C
 栄養学館 …… D
 耕 学 館 …… E
 思 静 館 …… F
 耕 心 館 …… H

学年	クラス	木						金						集中講義
		1 9:00~10:30	2 10:45~12:15	3 13:05~14:35	4 14:50~16:20	5 16:35~18:05	6 18:20~19:50	1 9:00~10:30	2 10:45~12:15	3 13:05~14:35	4 14:50~16:20	5 16:35~18:05	6 18:20~19:50	
1年		有機化学 (水崎) C318	英 語 (タートル) E210		社会生活と倫理 (清水) E108	消費生活論 (野口) C316		情報処理 (岡本実) E203	生活学概論 (西田・岡本実・立松) E203・C316・C416	住居計画 (岡俊) C211	食 物 学 (西田) C317	フードコーディネート論 (廣田幸) C318		
					<1年> 環境と人間 <2年> 環境と生命 (嵐谷) E201									
2年		英 語 (十時) E104			<2年生のみ> 経済の焦点 (中村良) E106			被服構成学実習 (山野) C217・C218	被服繊維学 (山野) C318	染色加工学 (山野) C318	生徒・進路指導論 (伊藤) E101		ボランティア活動 (木山)	
									食生活文化論 (西田) C317				インターシップ・プログラム (藤淵)	
3年		家族社会学 (立松) C316	英 語 (河南) C111				人間生活学演習 (岡俊) (中井) (松永) (岡本実) (加藤) (立松) (西田) 各研究室	住居管理学演習 (岡俊) C211	教 育 史 (木山) F346	介護概論 (中園) D260	キャリアガイダンス		インターシップ・プログラム (藤淵)	
										生活福祉演習 (立松) C412				
4年					居住と法 (下畑) C318	建築積算 (時松) C318		服飾デザイン論 (池永) C317	アパレル企画演習 (池永) C317		事前事後指導 (福石) E201	人間生活学演習 (岡俊) (中井) (松永) (岡本実) (加藤) (立松) (西田) 各研究室	教育実習 前期に実習がある者も必ず後期で履修申告を要すること。	
													教育実習 前期に実習がある者も必ず後期で履修申告を要すること。	
													卒業研究 (岡俊) (中井) (松永) (岡本実) (加藤) (立松) (西田)	

平成24年度 前期 授業時間割 (案)

九州女子大学 家政学部 栄養学科

学年	クラス	月						火						水					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50
1年	A	フランス語 (山下高) E306	生涯スポーツ (相原) (松崎) (西山) (堀内) 錬成館他	調理科学実験 (米田) C015・D151		キャリアデザイン (水崎) 他(共通教育機構教員) C215・F541		芸術を楽しむ <1年> 音楽を楽しむ <2年> (津山) F541	<1年次配当科目> 教職概論 (長濱) F441	日本国憲法 (鹿生子) E101	住居学 (岡俊) C317	心の科学 (井隼) E101	<留学生のみ> 日本事情 (方) E106	基礎化学 (水崎) D550	生活学概論 (立松・岡俊・中井) C412	同和教育 (牛島) E101	日本語表現法 (文章) (若松) E101 (白瀬) E102	食文化論 (細井) D260	
	B	中国語 (陳) E107		基礎化学実験 (水崎) D461・D356			文化人類学入門 (牛島) E110	日本人論 (河原木) E101			被服学 (中井) C318	生命科学 (屋代) E103		調理学 (廣田幸) D460					
2年	A	韓国語 (朴) E108	フードスペシャリスト論 (西田) F442	食品学各論 (三宅) D460	統計学 (二摩) E203		日本の文学 (櫻澤) E102	日本の近現代史 (若松) E102 <1年> ジェンダーと社会 (人権を含む。) <2年>	給食管理 (坂本) D460	解剖生理学 (因) D460	<2年生のみ> 人権と社会 (塩見) E106		食品学各論実験 (三宅) D360・D356		英語 (リチャーズ) C311	文章力をつける (白瀬) E102			
	B	<2年生のみ> ドイツ語 (渡辺) E106		生化学実験 (林葉) D551・D456			<2年次配当科目> 教育課程論 (園田) E104	ジェンダーと社会 (高木里) E103 <2年次配当科目> 食品流通・消費論 (謝) D552	食品学各論実験 (三宅) D360・D356		<留学生のみ> 日本語講座 (沙) E111		給食管理 (坂本) D551	生化学 (林葉) D551	英語 (グタル) E210				
3年	A	食品衛生学 (久山) D360	食品加工学 (米田) D360	食品衛生学実験 (久山) D360・D256		道德教育の研究 (大庭) B301		栄養教育方法論実習 (荒木) D260・E202・D256	栄養教育方法論 (荒木) D260	給食経営論 (坂本) D260			公衆栄養学 (金子) D260	公衆衛生学 (濱寄) D260	食品機能論 (三宅・米田) D260	臨床栄養治療論 (河南) D260	教育法規 (川野) F344		
	B	栄養教育方法論 (荒木) D260	栄養教育方法論実習 (荒木) D260・D256(2限のみ)・E202		病理学 (因) D260		臨床栄養治療論実習 (巴) C111・C112	食品衛生学 (久山) D461	公衆衛生学 (濱寄) D461	臨床実習 事前事後指導 (坂本) D360			人間栄養学実習 (細井) C317・C117		食品機能論 (三宅・米田) D360	給食経営論 (坂本) D360			
4年	A	応用栄養学演習 (屋代・坂本・細井) D461	フードスペシャリスト論 (西田) F442	運動と栄養 (屋代) E104	フードサービス論 (坂本) D460	英語 (屋代) D460	臨床実習 事前事後指導 (廣田幸) D552	国家試験総合演習 (4年担任) D552	食品流通・消費論 (謝) D552	基礎栄養学演習 (濱寄・因) C111	医学概論 (河南) C111	特別研究		臨床栄養アセスメント論実習 (久山・巴) D461・C111・C112	基礎栄養学演習 (水崎・林葉) D461	食品の官能評価・鑑別論 (米田) E105	フードコーディネーター論 (廣田幸) E104	特別研究	
	B	応用栄養学演習 (屋代・坂本・細井) D460		地域保健計画論 (細井) E107		運動療法論演習 (梨羽) E206				公衆栄養学実習 (金子) E205・E203			臨床栄養アセスメント論実習 (久山・巴) D461・C111・C112		基礎栄養学演習 (水崎・林葉) D460				

平成24年度 前期 授業時間割 (案)

九州女子大学 家政学部 栄養学科

【注意】

1. 点線は選択授業
2. 教室名の前に、館名を表すアルファベットを表示して、教室名を表します。
(例) A 2 2 2

館名 階
 本 館 …… A
 桃 園 館 …… B
 新 館 …… C
 栄養学館 …… D
 耕 学 館 …… E
 思 静 館 …… F
 耕 心 館 …… H

学年	クラス	木						金						集中講義
		1 9:00~10:30	2 10:45~12:15	3 13:05~14:35	4 14:50~16:20	5 16:35~18:05	6 18:20~19:50	1 9:00~10:30	2 10:45~12:15	3 13:05~14:35	4 14:50~16:20	5 16:35~18:05	6 18:20~19:50	
1年	A	基礎化学実験 (水崎) D360・D356			法と生活 (中野昌) E205			情報処理 (二摩) E202	英 語 (木梨) E103	調 理 学 (廣田幸) D460	健康の科学 (濱寄) E101			
	B	調理科学実験 (米田) C015・D151			暮らしと経済 (中村良) E201			基礎化学 (水崎) D461	情報処理 (二摩) E202	英 語 (木梨) E103				
2年	A	応用調理学実習 (廣田幸) C115・C116			<2年生のみ> 美術の世界 (床田) E101			生化学実験 (林葉) D551・D456	生化学 (林葉) D551	教育方法学 (園田) E102			ボランティア活動(木山) <small>履修登録上は必ず後期で申告をすること。</small>	
	B	統計学 (二摩) E203	食品学各論 (三宅) D460					応用調理学実習 (廣田幸) C115・C116	解剖生理学 (因) D360				インターシップ・プログラム(藤淵) <small>履修登録上は必ず後期で申告をすること。</small>	
3年	A	人間栄養学実習 (細井) C117・C111					公衆栄養学演習 (濱寄) D552	病 理 学 (因) D360	臨床栄養治療論実習 (巴) C111・C112	臨地実習 事前事後指導 (坂本) D360			インターシップ・プログラム(藤淵) <small>履修登録上は必ず後期で申告をすること。</small>	
	B	食品衛生学実験 (久山) D260・D256						食品加工学 (米田) D260	臨床栄養治療論 (河南) D260	公衆栄養学 (金子) D260				
4年	A	公衆栄養学実習 (金子) E205・E202		特別研究	栄養教諭論 (垂水・谷口真) D260		地域保健計画論 (細井) E107	臨地実習 事前事後指導 (金子) D552 H204	環境生理学 (濱寄) E105	事前事後指導(栄養教諭) (屋代・福石) E106・E201	キャリアガイダンス		特別研究 (三宅) (水崎) (屋代) (久山) (因) (河南) (林葉) (坂本) (米田) (廣田幸) (濱寄) (二摩) (巴) (荒木) (金子) (細井)	
	B	基礎栄養学演習 (濱寄・因) D460	運動と栄養 (屋代) D551				医学概論 (河南) C111							

平成24年度 後期 授業時間割 (案)

九州女子大学 家政学部 栄養学科

学年	クラス	月						火						水					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50
1年	A	フランス語 (山下高) E306		有機化学 (水崎) D460	医学概論 (河南) D460	キャリアデザイン (三宅) 他(共通教育機構教員) C215・F541		情報文化論 (鄭) E201	<1年次配当科目> 教育原論 (福石) E102	食品学総論実験 (三宅) D360・D356		<1年> 国際問題と政治 <2年> 国際問題の焦点 (鹿子生) E106 <1年生のみ> 文学表現と書道 (河原木・大迫正) E303	<留学生のみ> 日本事情 (方) E106	基礎調理学実習 (廣田幸) C115・C116		教育心理学 (奈田) E102	食品学総論 (三宅) D360		
	B	中国語 (陳) E107	有機化学 (水崎) D550	食品学総論実験 (三宅) D461・D356			宇宙の科学 (二摩) E101	世界の文学 (馬場) E205	健康管理概論 (濱崎) D551	栄養学総論 (石橋) D551	健康と栄養 (屋代・米田)E101 <留学生のみ> 日本語講座 (沙) E111		食品学総論 (三宅) D360	解剖生理学 (因) D360		医学概論 (河南) C111			
2年	A	韓国語 (朴) E108	人間栄養学 (坂本) D551	栄養情報論実習 (二摩) E203	生化学 (林葉) D460		<2年生のみ> 科学と人間 (濱崎) E103	社会学入門 (高木里) E101	解剖生理学実験 (屋代) D460・D256・標本室		微生物学 (久山) D260		栄養教育論 (荒木) D260	臨床栄養学総論 (河南) D260	英語 (リチャーズ) C311	生活経営学 (高橋久) C317	<教職課程履修者のみ> 総合演習 (菊地) H204 (田崎) E306 (村上) E304 (長濱) C215 (細井) E107		
	B	<2年生のみ> ドイツ語 (渡辺) E106	生化学 (林葉) D360	解剖生理学実験 (屋代) D360・D256・標本室		人間栄養学 (坂本) D260	<2年次配当科目> 教育行政学 (福石) E102	<2年生のみ> 世界の近現代史 (寺田) E109	<2年次配当科目> カウンセリング論 (倉成) E103	栄養情報論実習 (二摩) E203	臨床栄養学総論 (河南) C111		微生物学 (久山) D460	栄養教育論 (荒木) D460	英語 (グタル) E210	人間関係論 (三上) E102			
3年	A	臨床栄養教育論実習 (荒木・巴) D260・C111・C112		臨床栄養アセスメント論 (巴・久山) D260		教育相談論 (堀江) E102	分子栄養学 (水崎) D552	食品加工学実習 (米田) C015・D151	食品衛生学 (久山) D260	臨床栄養教育論 (荒木・巴) D260	特別活動の研究 (中村ま) E206		栄養調査・評価論実習 (金子) E201・E202・C318・C117		栄養調査・評価論 (金子) D260	臨床実習 事前事後指導 (巴) D552	児童・高齢者福祉論 (城尾・石黒) D260		
	B		公衆衛生学 (濱崎) C317	栄養調査・評価論 (金子) D551	食品衛生学 (久山) D551		臨床栄養教育論実習 (荒木・巴) E202・D260	栄養調査・評価論実習 (金子) E201・E202・C111・C112				食品加工学実習 (米田) C015・D151	臨床栄養アセスメント論 (巴・久山) D460						
4年	A	応用栄養学演習 (荒木・金子 巴・河南) D461	基礎栄養学演習 (三宅・久山 米田・廣田幸) D461					国家試験総合演習 (4年担任) D552	特別研究				臨床栄養治療論実習 (細井) C111・C112	管理栄養士総合演習 (米田) D552	国家試験総合演習 (4年担任) E201				
	B	応用栄養学演習 (荒木・金子 巴・河南) D460	基礎栄養学演習 (三宅・久山 米田・廣田幸) D460																

平成24年度 後期 授業時間割 (案)

九州女子大学 家政学部 栄養学科

【注意】

1. 点線は選択授業
2. 教室名の前に、館名を表すアルファベットを表示して、教室名を表します。
(例) A 2 2 2

館名 階
 本 館 …… A
 桃 園 館 …… B
 新 館 …… C
 栄養学館 …… D
 耕 学 館 …… E
 思 静 館 …… F
 耕 心 館 …… H

学年	クラス	木						金						集中講義
		1 9:00~10:30	2 10:45~12:15	3 13:05~14:35	4 14:50~16:20	5 16:35~18:05	6 18:20~19:50	1 9:00~10:30	2 10:45~12:15	3 13:05~14:35	4 14:50~16:20	5 16:35~18:05	6 18:20~19:50	
1年	A	栄養学総論 (石橋) D551	健康管理概論 (瀨崎) D551		<1年> 社会生活と倫理 (清水) E108 <1年> 環境と人間 <2年> 環境と生命 (嵐谷) E201 <2年生のみ> 経済の焦点 (中村良) E106			情報処理 (二摩) E202	英 語 (木梨) E103	解剖生理学 (因) D260	家族学概論 (立松) C412	フードコーディネート論 (廣田*) C318		
	B	基礎調理学実習 (廣田*) C115・C116							情報処理 (二摩) E202	英 語 (木梨) E103				
2年	A	給食管理実習 (坂本) D360・D155・C117		社会福祉概論 (河嶋) E101			生化学実験 (因) D260・D256	人間栄養学 (細井) D360	生徒指導論 (伊藤) E106				ボランティア活動 (木山) インターンシップ・プログラム (藤淵)	
	B	生化学実験 (因) D260・D256					給食管理実習 (坂本) D460・D155・C117			人間栄養学 (細井) D360				
3年	A	公衆衛生学 (瀨崎) D460	<3年次配当科目> 英 語 (河南) C111		栄養教諭論 (垂水・谷口真) D260		栄養生理学実験 (石橋・屋代) D360・D356 D551・D456	教 育 史 (木山) F346	介護概論 (中園) D260	キャリアガイダンス			インターンシップ・プログラム (藤淵) 臨地実習 (坂本) <small>前期に実習がある者も必ず後期で履修申告をすること。</small>	
	B	臨床栄養教育論 (荒木・巴) C111					栄養生理学実験 (石橋・屋代) D360・D356 D551・D456							
4年	A	特別研究	リハビリテーション論 (河岸) D552				特別研究		事前事後指導 (栄養教諭) (屋代・福石) D460・E201				栄養教育実習 (荒木) <small>前期に実習がある者も必ず後期で履修申告をすること。</small> 食事介助・食教育実習 (荒木)	
	B												臨地実習 (巴) <small>前期に実習がある者も必ず後期で履修申告をすること。</small> 臨地実習 (巴・金子) <small>前期に実習がある者も必ず後期で履修申告をすること。</small> 管理栄養士総合演習 (坂本・巴・金子) <small>3年次に実習がある者も必ず4年後期で履修申告をすること。</small> 特別研究 【別記】参照	

【別記】

[4年・集中講義]	特別研究
(三宅)	(水崎)
(屋代)	(久山)
(因)	(河南)
(林葉)	(坂本)
(米田)	(廣田*)
(瀨崎)	(二摩)
(巴)	(荒木)
(金子)	(細井)

平成24年度 前期 授業時間割 (案)

九州女子大学 人間科学部 人間発達学科 (改組年次計画完成年度案)

学年	クラス	月						火						水					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50
1年		フランス語 (山下高) E306	児童福祉 (中山智) E101	多文化理解 (牛島・中山智・石黒) E101	日本語表現法 (文章) (荻原) E106 (櫻澤) E107 (河原木) E108 (若松) E109	キャリアデザイン (太田) E101 (平山) E102 (古城) E107 (河原木) E108 (宮本) E109	楷書法 (古木) E303	芸術を楽しむ (津山) F541	日本の文学 (櫻澤) E102	総合英語 -A (馬場) E106 (永松) E107	発達心理学 (白澤) E105	日本人論 (河原木) E102	中国語 (沙) E204	(A) 情報処理演習 -A (八尋) H204 (曾我) E203	日本古典文学史 (河原木) E105	日本文化論 (河原木) E101	保育原理 (太田) H101	同和教育 (牛島) E103	情報科学概論 (八尋) E101
		中国語 (方) E204	学習心理学 (向井) E109			他(牛島) (奥田) (田崎) (山下高) (津山)		文化人類学入門 (牛島) E102	ジェンダーと社会 (人権を含む) (堤) E101	発達心理学 (白澤) E105	総合英語 -A (馬場) E106 (永松) E107	生命科学 (屋代) E103		(B) 情報処理演習 -A (八尋) H204 (曾我) E203		心理学概論 (鹿島) E102	日本語学概論 (音声言語を含む) (奥田) E103		
2年		韓国語 (朴) E108	(A) 総合英語 -A (中野秀) E104	(A) 保育内容(音楽表現) (片山) 奏楽室A (A) 日本古典文法 (奥田) E304	理科教育概論 (平山) F141 H102	情報処理演習 -A (鄭) E202	(A) 小児栄養 (小林) E108 (A) マルチメディア処理論 (宮本) E203	近現代の歴史 (若松) E101	教育課程論(初等) (園田) E102	総合演習 (木山) H101 (白瀬) H201 (片山) E108 (平山) E109 (中山智) E110 (長濱) E111	＜2年次配当科目＞ 書写書道 (吉田) E303	フィールドワーク基礎 (牛島) E105	家庭科教育概論 (小林) H101	小児保健 (大田) H101	(A) 英語コミュニケーション -A (タタール) E108 (リチャーズ) E109	(A) 器楽基礎 (片山) (伊豆) (上谷) (小方) (宮田) (岡直) レッスン室	キャリアデザイン (太田) E101 (木山) E102 (古城) E107 (河原木) E108	情報社会論 (鄭) E103	
		＜2年次配当科目＞ TOEIC (中野秀) E304	(B) 保育内容(音楽表現) (片山) 奏楽室A	(B) 総合英語 -A (永松) E103	資料組織概論 (野村) E103	小児栄養 (小林) B108	情報処理演習 -A (鄭) E202	＜2年次配当科目＞ 保育内容総論 (太田) H201	＜2年次配当科目＞ 発達援助の技法 (菊地) H406	情報ネットワーク (鄭) H204	＜2年次配当科目＞ データ処理論 (鄭) H204	＜2年次配当科目＞ 知的障害者教育 (石黒) H201	教育課程論(中等) (福石) E102		(B) 器楽基礎 (片山) (伊豆) (津山) (上谷) (小方) (宮田) レッスン室	(B) 英語コミュニケーション -A (タタール) E108 (リチャーズ) E109	(B) 他(牛島) (奥田) (田崎) (山下高) (津山)		
3年		(A) 保育内容(健康) (相原) H101	(A) 器楽応用 (伊豆) (津山) (小方) (宮田) レッスン室	教育制度論 (福石) E102	道徳教育指導法(初等) (川野) F441	道徳教育指導法(中等) (川野) E210	心理測定法 (古城) H101	(A) 体育科指導法 (相原) F442	英語コミュニケーション -A (タタール) E108 (リチャーズ) E109	(A) 生活科指導法 (平山) F441	リズム (上谷) 奏楽室A A422	卒業研究演習 (川野) C303 他 9クラス開講	卒業研究演習 (太田) H303 他 7クラス開講	病弱者の心理・生理・病理 (菊地) H406	軽度発達障害者教育総論 (菊地) H201	(A) 家庭科指導法 (小林) H406	(A) 保育内容(環境) (平山) F141	情報サービス概論 (高橋) E104	レファレンスサービス演習 (高橋) E104
		(B) 器楽応用 (片山) (伊豆) (津山) (小方) (宮田) レッスン室	(B) 保育内容(健康) (相原) H101	篆隸書法 (大迫正) E303	仮名書法 (大迫正) E303			(B) 生活科指導法 (平山) F441	アルゴリズムと プログラム (八尋) E304	(B) 体育科指導法 (相原) F442	肢体不自由者支援学 (堀江) H406	障害者の病理・保健 (菊地) H406	卒業研究演習 (河原木) E324 他 2クラス開講	卒業研究演習 (太田) H303 他 7クラス開講	中国書道史 (大迫正) E303	学校経営と学校図書館 (宮崎) E102	(B) 保育内容(環境) (平山) F141	(B) 家庭科指導法 (小林) H406	
4年		カウンセリング技法 (白澤) H406	教育史 (木山) F442	造形演習 (谷口) F144	教育史 (木山) E105		＜3・4年次配当科目＞ 保育実習・ 事前事後指導 (大田・大迫正・中山智) H101	英語セミナー (中野) E304	児童・進路指導 (川野) H101		初等教育実習 事前事後指導 (長濱・鹿島・太田) H101			卒業研究演習 (川野) C303 他 9クラス開講	卒業研究演習 (太田) H303 他 7クラス開講	(A) 保育相談論 (カウンセリングを含む) (白澤) H201	篆隸書法 (古木) E303	特別支援学校教育実習 事前事後指導 (菊地・石黒・堀江) H201	
														(B) 保育相談論 (カウンセリングを含む) (白澤) H201	卒業研究演習 (高橋) E218 他 8クラス開講	卒業研究演習 (高橋) E218 他 8クラス開講		卒業研究演習 (河原木) E324 他 2クラス開講	

平成24年度 前期 授業時間割

九州女子大学 人間科学部 人間発達学科 (改組年次計画完成年度案)

学年	クラス	木						金						集中講義	
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6		
		9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50		
1年		TOEIC (中野秀) E304	図書館概論 (高橋) E102		法と生活 (中野昌) E205	人間学概論 (清水) H101		障害者教育総論 (堀江) H406	国語科教育概論 (書写を含む) (白瀬) E101	教育心理学 (古城) E101	教職概論 (長濱) E103				
					暮らしと経済 (中村良) E201				教職概論 (長濱) E102						
2年		病弱教育 (猪狩) H101	社会福祉原論 (矢野) F441	(A) 社会科指導法 (豊島) H101	<2年次配当科目> (B) 社会科指導法 (豊島) H101	社会調査法 (三沢) H201	心理データ解析法 (三沢) H204	養護原理 (大迫秀) F441	(A) 保育内容総論 (太田) H201	(A) 保育内容(人間関係) (白澤) H101	(A) 器楽基礎 (伊豆)(津山) (碓井)(溝口) (野沢) レッスン室	(A) 国語科指導法 (白瀬) H101			
		心理学実験実習 (古城) (堀江) H201 H406		学校心理学 (古城) E105	<2年次配当科目> 知覚心理学 (山田) H406			情報経営学概論 (八島) E105	(B) 保育内容(人間関係) (白澤) H101	(B) 器楽基礎 (伊豆)(岡直) (碓井)(溝口) (野沢) レッスン室	(B) 国語科指導法 (白瀬) H101	総合演習 (木山) E304 (古城) E305 (白瀬) E306			
3年		教育行政学 (福石) E103	書道科教育法 (大迫正) E303				器楽応用 (片山) (伊豆) (岡直) (碓井) レッスン室	器楽応用 (片山) (伊豆) (津山) (岡直) (碓井) レッスン室	漢字仮名交じり書法 (吉田) E303	コミュニケーション概論 (古城) E104	<3年次配当科目> キャリアデザイン (牛島) E106 (奥田) E107 (田崎) E108 (山下高) E109 (津山) E111	介護等体験 (古城) E201			
			情報処理技術 (宮本) E202				国語科教育法 (奥田) E205	情報科教育法 (福永) E208	情報と職業 (八尋) E104	<3年次配当科目> メディア表現研究 (宮本) E203					
4年		図書館サービス論 (高橋) E102	子育て支援演習 (高木) H101	(A) 児童英語指導法 (新山) E106			読書と豊かな人間性 (轟) E103	生徒・進路指導 (川野) E205	中等教育実習 事前事後指導 (福石・長濱) E201	キャリアデザイン (中野) E112 (タタル) E113 (リチャーズ) E114	キャリアガイダンス	精神医学(増井)			
				(B) 学習指導と学校図書館 (宮崎) E102	(B) 児童英語指導法 (新山) E106							卒業研究論文			

【注意】
 1. 点線は選択授業
 2. 教室名の前に、館名を表すアルファベットを表示して、教室名を表します。
 (例) A 2 2 2

- 館名 階
 本館 …… A
 桃園館 …… B
 新館 …… C
 栄養学館 …… D
 耕学館 …… E
 思静館 …… F
 耕心館 …… H

平成24年度 後期 授業時間割

九州女子大学 人間科学部 人間発達学科 (改組年次計画完成年度案)

学年	クラス	月						火						水					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50
1年		フランス語 (山下高) E306	生涯スポーツ (相原) (八板) (得居) (永淵) (松崎) 錬成館他	健康の科学 (相原) F541	障害児心理学 (大迫) H201	キャリアデザイン (太田) E104 (平山) E105 (古城) E107 (河原木) E108 (宮本) E109 他(牛島) (奥田) (田崎) (山下高) (津山)		生活と文化 (牛島) E103	世界の文学 (馬場) E102	算数科教育概論 (山下昭) H201	生活科教育概論 (小林) H406	国際問題と政治 (鹿子生) E102	中国語 (沙) E204	(A) 総合英語 -B (馬場) E106 (永松) E107	(A) 情報処理演習 -B (八尋) H204 (曾我) E203	文学概論 (馬場・山下高・若松) E101	教育原論 (木山) E102	障害者教育総論 (堀江) H101	
		中国語 (方) E204			臨床心理学 (大迫秀) E101			情報文化論 (鄭) E102	社会学入門 (堤) E103	日本古典文学史 (櫻澤) E108	保育原理 (木山) H201	<1年次配当科目> 文学表現と書道 (大迫正・河原木) E103		(B) 情報処理演習 -B (八尋) H204 (曾我) E203	(B) 総合英語 -B (馬場) E106 (永松) E107	健康心理学 (大迫秀) E105	教育原論 (福石) E101	行書書法 (大迫正) E303	
2年			国語科教育法 (白瀬) E106	(A) 英語コミュニケーション -B (タタール) E108 (リチャーズ) E109	(A) 情報処理演習 -B (鄭) E203	(A) 体育 (相原) H201	(A) 図画工作指導法 (谷口) F144	<2年次配当科目> 英語による日本文化 (馬場) E106	<2年次配当科目> 日本事情 (方) E111	(A) 社会福祉援助技術 (中山智) H101	(A) 乳児保育 (大田) F344	(沙) E111 <2年次配当科目> 書写書道 (古木) E303	<2年次配当科目> 児童福祉 (大迫秀) H201	(A) 算数科指導法 (山下昭) H201	(A) 保育内容(造形表現) (平山) F144	(A) 理科指導法 (平山) F141	日本語表現法 (論文・レポート) (荻原) E104 (櫻澤) E105 (河原木) E205 (若松) E206	キャリアデザイン (太田) E104 (木山) E105 (古城) E106 (八尋) E108 (河原木) E109 他(牛島) (奥田) (田崎) (山下高) (津山)	心理データ解析法 (三沢) H204
		韓国語 (朴) E108		(B) 情報処理演習 -B (鄭) E203	(B) 英語コミュニケーション -B (タタール) E108 (リチャーズ) E109	(B) 図画工作指導法 (谷口) F144	(B) 体育 (相原) H201	<2年次配当科目> 肢体不自由者の 心理・生理・病理 (堀江) H406	<2年次配当科目> 肢体不自由者教育 (堀江) H406	(B) 乳児保育 (大田) F344	(B) 社会福祉援助技術 (中山智) H101	<2年次配当科目> 乳幼児心理学 (白澤) H101		(B) 理科指導法 (平山) F141	(B) 算数科指導法 (山下昭) H201	(B) 保育内容(造形表現) (谷口) F144	マルチメディア処理演習 (実習を含む。) (宮本) E203	他(牛島) (奥田) (田崎) (山下高) (津山)	図書館経営論 (高橋) E102
3年		心理測定法 (古城) H101	知的障害者支援学 (菊地) H201	児童・教育相談論 (鹿島) H101	精神保健 (中山智) F441	生徒・教育相談論 (鹿島) E103	介護等体験 (古城) E201	(A) 障害児保育 (菊地) C412	(A) 養護内容 (大迫秀) C411	情報処理実習 (宮本) H204		卒業研究演習 (川野) C303 他 7クラス開講	卒業研究演習 (太田) F201 他 9クラス開講	聴覚障害教育総論 (石黒) H406	家族援助論 (中山智) F441	英語コミュニケーション -B (タタール) E108 (リチャーズ) E109	教育法規 (鈴木) H101	教育法規 (鈴木) E103	
		日本近現代文学 (荻原) E109	カウンセリング技法 (鹿島) H406	感性科学 (山田) H406	日本語史 (奥田) E105	日本語史 (奥田) E105	日本古典文学 (櫻澤) E107	(B) 養護内容 (大迫秀) C411	(B) 障害児保育 (菊地) C412	日本古典文学 (櫻澤) E107	情報検索演習 (高橋) E203	社会情報学特講 (高橋) E203	卒業研究演習 (高橋) E218 他 5クラス開講	卒業研究演習 (八尋) E216 他 5クラス開講	資料組織演習 (野村知) E105	行動科学研究法 (齋藤) H101		鑑賞 (古木) E303	
4年				特別支援学校教育実習 事前事後指導 (菊地・石黒・堀江) H101			初等教育実習 事前事後指導 (長濱・鹿島・太田光) H101	教職実践演習(初等) (木山) E106 (白瀬) E107 (長濱) E108 (川野) E109 (太田) H101 (田崎) H201		卒業研究演習 (太田) F201 他 9クラス開講		卒業研究演習 (川野) C303 他 7クラス開講	卒業研究演習 (高橋) E218 他 5クラス開講	<3・4年次配当科目> 保育実習・ 事前事後指導 (大田・大迫秀・中山智) H101	漢字仮名交り書法 (吉田) E303	教職実践演習(中等) (木山) E304 (福石) E305 (長濱) E306	専門資料論 (高橋) E103	児童サービス論 (轟) E101	
								仮名書法 (古木) E303		卒業研究演習 (八尋) E216 他 5クラス開講		卒業研究演習 (高橋) E218 他 5クラス開講							

平成24年度 後期 授業時間割

九州女子大学 人間科学部 人間発達学科 (改組年次計画完成年度案)

学年	クラス	木						金						集中講義						
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6							
		9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50	9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	14:50~16:20	16:35~18:05	18:20~19:50							
1年		小児保健 (大田) H101	社会科教育概論 (豊眞) H201	日本国憲法 (鹿子生) E102	<1年次配当科目> 社会心理学 (三沢) E103	言語学概論 (廣田恵) E205		同和教育 (牛島) E102	(A) 図画工作 (谷口) F144	(A) 保育内容(言葉) (高木) H101	図書館資料論 (高橋) E102	情報社会と倫理 (高橋) E102								
					社会生活と倫理 (清水) E102	文化心理学 (三沢) E206			(B) 保育内容(言葉) (高木) H101	(B) 図画工作 (谷口) F144										
2年		情報ネットワーク演習 (実習を含む。) (鄭) E203	教育課程・保育計画総論 (下山) H101		環境と人間 (嵐谷) E201	(A) 音楽基礎 (北村) F541	日本語口語文法 (樋口) E106	(A) 総合英語 -B (中野) E106		知的障害者の 心理・生理・病理 (石黒) H406	小児保健実習 (大田) F247	特別活動指導法(初等) (川野) H101	小児保健実習 (大田) F247							
			データ処理演習 (実習を含む。) (鄭) E203		<2年次配当科目> (B) 音楽基礎 (北村) F541	生涯学習概論 (永淵) E102		(B) 総合英語 -B (永松) E107	(B) 図画工作 (大田) F247	小児保健実習 (野村) H204	特別活動指導(中等) (川野) E206	心理学実験実習 (白澤) (鹿島) H201 H406								
3年		視覚障害者教育総論 (氏間) H406	児童英語概論 (新山) H406	(A) 音楽科指導法 (木村) 奏楽室A	(A) 学校図書館メディアの構成 教育方法・技術論 (野村知) E202	教育方法・技術論 (高田) H101	<3年次配当科目> 国語科教育法 (奥田) E206	重複障害教育総論 (堀江) H406	教育方法学 (高田) E107	キャリアデザイン (牛島) E106 (奥田) E107 (田崎) E108 (山下高) E109 (津山) E111	キャリアガイダンス		保育所実習 (大田・中山智)							
		漢文学 (若松) E109	書道科教育法 (大迫正) E303	生理心理学 (光藤) E109	(B) 音楽科指導法 (木村) 奏楽室A	(B) 学校図書館メディアの構成 (野村知) E202		キャリアデザイン (馬場) E110 (永松) E111	情報科教育法 (福永) E208											
4年		(A) 情報メディアの活用 (野村知) E202						資料特論 (轟) E101	コミュニケーション論 (古城) E102	中等教育実習 事前事後指導 (福石・長濱) E201				保育所実習 (大田・中山智)						
			(B) 情報メディアの活用 (野村知) E202											施設実習 (大迫秀)	施設実習 (大迫秀)	初等教育実習 (太田・長濱・鹿島)	初等教育実習 (太田・長濱・鹿島)	特別支援学校教育実習 (菊地・石黒・堀江)	中等教育実習 (福石・長濱)	中等教育実習 (福石・長濱)

【注意】
 1. 点線は選択授業
 2. 教室名の前に、館名を表すアルファベットを表示して、教室名を表します。
 (例) A 2 2 2

- 館名 階
- 本 館 A
 - 桃園 館 B
 - 新 館 C
 - 栄養学 館 D
 - 耕学 館 E
 - 思 静 館 F
 - 耕心 館 H

「教育実習」「養護実習」受入承諾書一覧

	実習施設名	所在地	園、学校数	学級数	対象授業科目	受入可能 人数(名)	承諾書 (頁)
1	北九州市教育委員会 所管 幼稚園	福岡県北九州市	8	25	教育実習 教育実習	-	47
	北九州市教育委員会 所管 小学校	福岡県北九州市	131	1,815	養護実習	-	
	北九州市教育委員会 所管 中学校	福岡県北九州市	63	778	養護実習	-	
	北九州市教育委員会 所管 高等学校	福岡県北九州市	1	18	養護実習	-	

(園、学校数および学級数については、平成21年5月1日現在)

	実習施設名	所在地	園、学校数	学級数	対象授業科目	受入可能 人数(名)	承諾書 (頁)
2	九州女子大学附属折尾幼稚園	福岡県北九州市	1	8	教育実習 教育実習	-	48
3	九州女子大学附属自由ヶ丘幼稚園	福岡県北九州市	1	8		-	49

(学級数については、平成21年5月1日現在)

資料 8

別添資料として実習先の承諾書 3 枚を添付

「保育所実習」「施設実習」実施施設承諾書一覧

〔保育所実習 実施施設(54件)〕

	実習施設名	所在地	定員 (名)	対象授業科目	受入可能 人数(名)	承諾書 (頁)
1	新門司保育所	福岡県北九州市	60	保育所実習 保育所実習	1	51
2	吉野保育所	福岡県北九州市	120		2	52
3	早鞆保育所	福岡県北九州市	120		2	53
4	みなと保育所	福岡県北九州市	90		2	54
5	すみれ保育所	福岡県北九州市	100		2	55
6	一枝保育所	福岡県北九州市	120		2	56
7	三六保育所	福岡県北九州市	120		2	57
8	天籟寺保育所	福岡県北九州市	120		2	58
9	西戸畑保育所	福岡県北九州市	110		2	59
10	初音保育所	福岡県北九州市	100		2	60
11	篠崎保育所	福岡県北九州市	60		1	61
12	下富野保育所	福岡県北九州市	120		2	62
13	白銀保育所	福岡県北九州市	90		2	63
14	白百合保育所	福岡県北九州市	90		2	64
15	東篠崎保育所	福岡県北九州市	120		2	65
16	今町保育所	福岡県北九州市	90		2	66
17	井堀保育所	福岡県北九州市	100		2	67
18	清水保育所	福岡県北九州市	120		2	68
19	日明保育所	福岡県北九州市	120		2	69
20	到津保育所	福岡県北九州市	150		2	70
21	上富野保育所	福岡県北九州市	90		2	71
22	中島保育所	福岡県北九州市	120		2	72
23	黒原保育所	福岡県北九州市	120		2	73
24	南丘保育所	福岡県北九州市	120		2	74
25	北方西保育所	福岡県北九州市	120		2	75
26	北方南保育所	福岡県北九州市	90		2	76
27	城野保育所	福岡県北九州市	70		1	77
28	徳力保育所	福岡県北九州市	120		2	78
29	徳吉保育所	福岡県北九州市	90		2	79
30	蛭田保育所	福岡県北九州市	90		2	80
31	貫保育所	福岡県北九州市	70		1	81
32	若園保育所	福岡県北九州市	120		2	82
33	積徳保育所	福岡県北九州市	120		2	83
34	畑保育所	福岡県北九州市	110		2	84
35	修多羅保育所	福岡県北九州市	70		1	85
36	若松コスモス保 育所	福岡県北九州市	120		2	86
37	二島保育所	福岡県北九州市	80		2	87
38	小石保育所	福岡県北九州市	90		2	88
39	原町乳児保 育所	福岡県北九州市	45		1	89
40	大蔵保育所	福岡県北九州市	90		2	90

	実習施設名	所在地	定員 (名)	対象授業科目	受入可能 人数(名)	承諾書 (頁)
41	中央保育所	福岡県北九州市	80	保育所実習 保育所実習	2	91
42	槻田保育所	福岡県北九州市	75		1	92
43	堂山保育所	福岡県北九州市	90		2	93
44	八幡東さくら保 育所	福岡県北九州市	180		2	94
45	穴生保育所	福岡県北九州市	90		2	95
46	折尾保育所	福岡県北九州市	120		2	96
47	黒崎保育所	福岡県北九州市	110		2	97
48	萩原保育所	福岡県北九州市	90		2	98
49	折尾丸山保 育所	福岡県北九州市	100		2	99
50	陣山乳児保 育所	福岡県北九州市	60		1	100
51	鳴水保育所	福岡県北九州市	120		2	101
52	永犬丸保育所	福岡県北九州市	150		2	102
53	楠橋保育所	福岡県北九州市	120		2	103
54	うさぎ保育所	福岡県北九州市	120		2	104
合計					100	

〔施設実習 実施施設(22件)〕

	実習施設名	所在地	定員 (名)	対象授業科目	受入可能 人数(名)	承諾書 (頁)
1	門司ヶ関学園	福岡県北九州市	70	施設実習 施設実習	5	105
2	やまびこ学園	福岡県北九州市	100		4	106
3	北九州乳児院	福岡県北九州市	30		6	107
4	双葉学園	福岡県北九州市	100		6	108
5	あすなろ学園	福岡県北九州市	53		6	109
6	双葉ホーム	福岡県北九州市	6		1	110
7	聖小崎ホーム	福岡県北九州市	60		6	111
8	小池学園	福岡県北九州市	165		6	112
9	若松児童ホーム	福岡県北九州市	80		6	113
10	報恩母の家	福岡県速賀郡岡 垣町	100		4	114
11	福岡県立粕屋 新光園	福岡県糟屋郡新 宮町	110		6	115
12	若葉荘	福岡県糟屋郡久 山町	60		6	116
13	穂波学園	福岡県飯塚市	120		5	117
14	嘉麻学園	福岡県嘉麻市	80		5	118
15	誠慈学園	福岡県田川郡大 任町	40		4	119
16	真愛園光寮	福岡県朝倉市	45		2	120
17	ひばりが丘学園	福岡県朝倉市	80		4	121
18	古処学園	福岡県朝倉市	40		4	122
19	白梅学園	福岡県柳川市	90		6	123
20	若草学園	福岡県田川郡糸 田町	30		6	124
21	蓮の実団地	福岡県八女市	120		2	125
22	蓮の実園	福岡県八女市	80		1	126
合計					101	

資料 9

別添資料として実習先の承諾書 76 枚を添付

九州女子大学評議会規則

平成 6 年学園規則第 3 号

施行：平成 6 年 3 月 28 日

最終改正：平成 20 年 11 月 28 日

(目的)

第 1 条 この規則は、九州女子大学学則第 10 条第 2 項の規定に基づき、九州女子大学評議会（以下「評議会」という。）に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(組織)

第 2 条 評議会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 各学部長
- (4) 各学部教授会選出の教授 各 2 名
- (5) 図書館長
- (6) 教務部長
- (7) 学生部長
- (8) 入試部長
- (9) 事務局長
- (10) 九州女子大学組織規則（昭和 62 年学園規則第 6 号）第 13 条に定める各課の課長

2 学長が九州女子短期大学学長を併任する場合、次の各号に掲げる者を評議員に任命するものとする。

- (1) 九州女子短期大学副学長
- (2) 九州女子短期大学部長
- (3) 九州女子短期大学教授会選出の教授 2 名
- (4) 九州女子短期大学専攻科長
- (5) 九州女子短期大学教務部長
- (6) 九州女子短期大学学生部長
- (7) 九州女子短期大学入試部長
- (8) 九州女子短期大学組織規則（昭和 62 年学園規則第 7 号）第 13 条に定める各課の課長

(任期)

第 3 条 前条第 1 項第 4 号及び第 2 項第 3 号の評議員の任期は、2 年とし、再任を妨げない。

2 評議員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(審議事項)

第 4 条 評議会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育研究上の目的を達成するための基本的計画に関する事項
- (2) 学則その他規則等の制定又は改廃に関する事項
- (3) 予算の見積りの方針に関する事項
- (4) 学部、学科その他重要な組織の設置又は改廃に関する事項
- (5) 学生の定員に関する事項
- (6) 教員人事の方針に関する事項
- (7) 教育課程の編成に関する方針に係る事項

- (8) 学生の厚生及び補導に関する方針に係る事項
- (9) 学生の入学、卒業又は課程の修了その他在籍に関する方針及び学位の授与に関する方針に係る事項
- (10) 教育研究活動等の状況について本学が行う評価に関する事項
- (11) その他全学的な運営に関する重要事項
(招集及び議長)

第5条 学長は、次の各号に掲げる場合に評議会を招集し、その議長となる。

- (1) 学長が評議会の開催を必要と認めたとき。
 - (2) 評議員の3分の1以上の要請があったとき。
 - (3) 理事会から諮問を受けたとき。
- 2 議長に支障あるときは、副学長又はあらかじめ議長が指名する学部長がその職務を代行する。
(招集通知)

第6条 評議会の招集は、原則として開催日の3日前までに議事事項を付し通知する。ただし、緊急の場合はこの限りでない。

- 2 あらかじめ通知された議事事項の変更又は追加については、評議会の承認を要する。
(会議)

第7条 評議会は、評議員の3分の2以上の出席がなければ成立しない。

(議事)

第8条 評議会の議事は、出席者の過半数をもって決する。ただし、評議会の議により、重要と認められた事項については、出席者の3分の2以上をもって決する。

(評議員以外の者の出席)

第9条 議長が必要と認めた場合は、評議員以外の者を出席させ、発言を求めることができる。

- 2 議長は、評議会の議により、評議員以外の陪席者を定めることができる。ただし、陪席者は、所轄事項についてのみ発言できるものとする。

(専門推進部会)

第10条 評議会は、第4条に規定された事項について、具体的施策の策定及び実施に向けた調整を行うため、必要に応じて専門推進部会(以下「部会」という。)を置くことができる。

- 2 部会は、議長が指名した部会委員をもって構成する。
- 3 部会に部会長を置き、部会委員のうちから議長が指名する。
- 4 部会は、協議した事項について評議会に報告する。
- 5 部会の運営に関する細目は、当該部会が定める。

(理事会に付議)

第11条 理事会の審議議決を要する評議会の議決については、その議事録を添えて理事会に付議しなければならない。

- 2 前項の議決は、理事会の承認後に発効するものとする。

(事務)

第12条 評議会の事務は、総務課において処理する。

- 2 評議会の議事録は、会議後1週間以内に作成し、学長、評議員及び理事長の閲覧に供しなければならない。

附 則

この規則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成 6 年 6 月 21 日から施行する。

附 則

この規則は、平成 7 年 5 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成 12 年 4 月 26 日から施行し、平成 12 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この規則は、平成 17 年 7 月 19 日から施行する。

附 則

この規則は、平成 18 年 4 月 25 日から施行し、同年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成 20 年 11 月 28 日から施行する。